

シラバス 2021

1 学年

授 業 科 目

基礎分野

基礎分野

授業科目名	行動科学								
担 当 者	金武 育子								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)心理学のさまざまなトピック、主要な研究、先駆的研究者、重要な理論などを幅広く取り上げ、心理学においてこれまでに蓄積されてきたものと、現在の研究、今後の方向性を話題にすることで、人間の行動についての心理学的・科学的な知見を提供する。集団や社会の理解、とりわけ各個人の自己理解のきっかけとなり、助けとなることを目的とする。									
(到 達 目 標)									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	授業概要					講義	金武 育子		
2	心理学の歴史					講義	金武 育子		
3	知覚					講義	金武 育子		
4	記憶					講義	金武 育子		
5	脳と心					講義	金武 育子		
6	パーソナリティ I ・文章完成法 ・外向VS内向					講義	金武 育子		
7	パーソナリティ II					講義・ビデオ学習	金武 育子		
8	パーソナリティ ・心理学テスト ・家族図 ・友人図 ・バウム ・エゴグラム					講義	金武 育子		
9	エゴグラムの解説					講義	金武 育子		
10	印象形成					講義	金武 育子		
11	学習、動機づけ ・言語(思考)					GW	金武 育子		
12	動機づけ、思考					GW	金武 育子		
13	言語、思考力					GW	金武 育子		
14	まとめ(心の成長)					講義	金武 育子		
15	筆記試験 まとめ					講義	金武 育子		
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名			著 者			出 版 社			
ダイアグラム心理学						北大路書房			
参 考 書									
書 名			著 者			出 版 社			
発達支援のための生涯発達心理学						ナカニシヤ			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

基礎分野

授業科目名	哲学								
担 当 者	赤井 清								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年後期	授 業 回 数	0	時 間 数	0	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要) 哲学の基礎概念を理解し、自然と人間の生命の尊厳について学ぶ									
(到 達 目 標) 哲学の基礎概念を理解し、かえくがえのない自然と人間の生命の尊厳について学ぶ。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	講義概要の説明					講義	赤井 清		
2	第2章 知覚の本性 1. 見えてないのに、見えている？					講義	赤井 清		
3	1. 見えてないのに、見えている？					講義	赤井 清		
4	2. 見えているのに、見えていない？ 盲目否認の場合					講義	赤井 清		
5	3. どんな現象から出発したらいいの？					講義	赤井 清		
6	4. 目が動いていないと、三角形が見えない？					講義	赤井 清		
7	5. 見誤りと錯覚					講義	赤井 清		
8	6. 三角形には形がない？					講義	赤井 清		
9	「サイエンスゼロ ここまできた遠隔医療」					講義	赤井 清		
10	筆記試験(昼間)					講義	赤井 清		
11	第3章 意識・思考・自由 1. 瞬間の悪夢					講義	赤井 清		
12	2. いくつもの思考の「流れ」と創造性					講義	赤井 清		
13	2. いくつもの思考の「流れ」と創造性					講義	赤井 清		
14	3. 自由に、そして、もっと適切に行動するには					講義	赤井 清		
15	筆記試験(期末)、まとめ					講義	赤井 清		
☒ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名			著 者			出 版 社			
哲学にご用心 認識の謎を探る						ナカニシヤ出版			
参 考 書									
書 名			著 者			出 版 社			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

基礎分野

授業科目名	情報科学								
担 当 者	久島 昌弘/ 高良 勝俊/ 伊藤 義則/ 喜屋武 享								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期, 1年後期	授 業 回 数	0	時 間 数	0	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)看護は、情報なしでは成り立たない。電子カルテなどを中心とする情報の電子化、ネットワーク化の急速な普及とともに、看護が取り扱う情報は膨大になってきている。 情報にかんする基本的な操作から、情報倫理、どんな情報をどうやって入手し、それを日々の看護にどのように活用していくかを学んでいく。 (到 達 目 標)情報科学の基礎を学び情報処理および技術を習得すると共に情報の活用方法や倫理について学ぶ。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容						方法 (講義・実技・演習)	担当者	
1	情報の定義と特徴 情報化社会								
2	保健医療と情報 看護と情報								
3	医療における情報システム								
4	情報倫理と医療倫理								
5	患者の権利と情報								
6	個人情報の保護								
7	コンピュータリテラシーとセキュリティ								
8	既存の情報の収集方法								
9	調査によるデータ収集方法								
10	Excelによる統計解析①								
11	Excelによる統計解析②								
12	文字情報の整理								
13	情報の発表とプレゼンテーション①								
14	情報の発表とプレゼンテーション②								
15	情報の発表とプレゼンテーション③								
☒ 期末試験 () % ☒ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☒ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名			著 者			出 版 社			
系統看護学講座 別巻 看護情報学			中山和弘編著			医学書院			
参 考 書									
書 名			著 者			出 版 社			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

基礎分野

授業科目名	人間関係論								
担 当 者	金武 育子								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年後期	授 業 回 数	10	時 間 数	300	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)人間関係成立の基本を理解し、人間関係発展のための自己及び他者理解などを通して、カウンセリング理論と技を学ぶ。 さらに円滑な人間関係成立のための実際を理解する。									
(到 達 目 標)人間関係の成立の基本を学び、人と円滑に関わる能力を身につける。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	人間関係とは					講義	金武 育子		
2	人間関係の課題イメージ					講義	金武 育子		
3	よりよい人間関係とは					講義	金武 育子		
4	発達障害の理解					講義	金武 育子		
5	発達段階・発達課題					講義	金武 育子		
6	バースデーチェーン(ノンバーバルコミュニケーション)					講義	金武 育子		
7	ストローグ エゴグラム					GW	金武 育子		
8	人間関係の理解:教師-生徒関係					講義	金武 育子		
9	人間関係の理解:師弟関係-恋愛関係					講義	金武 育子		
10	傾聴、コメントの交換					講義	金武 育子		
☐ 期末試験 () % ☒ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名			著 者			出 版 社			
講師が作成した資料									
参 考 書									
書 名			著 者			出 版 社			
講師より紹介									
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

基礎分野

授業科目名	人間関係成立の実際								
担 当 者	島仲 ルミ子								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期, 1年後期	授 業 回 数	5	時 間 数	10	単 位 数	
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要) 接遇全般に関して身につけるための具体策と考え方の本質を理解・確認し、自己を見つめる能力を養い、医療サービス産業に関わる者としてのホスピタリティー精神を育む。又、社会人としても人と接するときの具体的な表現を身につけるように講義、演習、実習および体験学習など主に実技を中心に展開する。可能な限り、自己目標を具体化する「自ら考え行動する」ことの習慣づけができることを目標とする。 (到 達 目 標) 人間関係の成立の基本を学び、人と円滑に関わる能力を身につける。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	①学習の目標と身につける必要性と心構え ②接遇の心構え(なぜ接遇が必要か)接遇の5要素とは ③グループワーク自己紹介(自己理解、自己開示、コミュニケーション) ④プロへの決意 ⑤体験学習:コミュニケーション&コンセンサス(話すこと聞くこと価値観の違いの理解)					GW			
2	⑥社会人として、あらゆる場面でのマナー・エチケットについて ※お辞儀の仕方・姿勢作り 身だしなみ、態度と表情					講義			
3	⑦ことばづかいのマナー ※コミュニケーションにより、自分自身が正しく評価される表現の必要性和重要性を学ぶ。 ※演習丁寧なことばに言い換えるレッスン 自宅学習で敬語の基本が実際場面でどのように表現されるかを確認する					演習			
4	⑧事例演習:事例でのイメージした態度とことばづかい 各場面での対応やマナーのあり方を学ぶ					演習			
5	⑨自己分析 ①(自分の考える自分と他人に写る自分を知る) ※自分の長所と短所、その理由を整理し、メンバーからアドバイスを受ける 自己理解、自己開示は人間関係の原点として認識を高める ※自分に目を向けることで、課題を発見し、目標をつくりチャレンジする ※行動に移す気づきを高めることを学習の目的に実施自己分析発表(勇気づけのメッセージ)プレゼント					GW			
☐ 期末試験 () % ■提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ■その他 (授業態度) () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名			著 者			出 版 社			
講師が作成した資料									
参 考 書									
書 名			著 者			出 版 社			
医療接遇とコミュニケーション									
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

基礎分野

授業科目名	社会学								
担 当 者	具志堅 邦子								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)社会学の基礎概念をふまえ、現代社会をコミュニティの視点で社会学化してみる。また地域・家族・社会文化を学び、社会的存在としての人間を理解する。さらに社会の動きに関心を持ち、人間をとりまく社会現象(事実)を見極める能力を養う。									
(到 達 目 標)人間の社会構造や社会的な人間行動、さらに家族の機能・構造を理解する。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容						方法 (講義・実技・演習)	担当者	
1	近代と社会学								
2	社会学の基礎概念								
3	現在の日本社会とコミュニティ								
4	都市を問いなおす								
5	地域・国家・グローバル								
6	「公－共－私」をめぐる構造変化								
7	持続可能な社会のイメージ								
8	ケアを問いなおす								
9	ポスト産業化社会								
10	「家族」を問いなおす(1)								
11	「家族」を問なおす(2)								
12	沖縄の社会・文化の構造(1)								
13	沖縄の社会・文化の構造(2)								
14	「沖縄の家族」を社会学する(1)								
15	「沖縄の家族」を社会学する(2)								
☒ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☒ その他(平常点で評価) () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
講師資料									
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
授業で随時紹介									
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									
基本的にシラバスにそって進めますが、その時々トピックを挿入して社会学的視点でみていくことがあります。									

基礎分野

授業科目名	英語 I						
担 当 者	宇座 玲子						
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期	授 業 回 数	23	時 間 数	46
						単 位 数	2

授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標

(概 要)看護及び医療分野における基本的英会話、単語、表現法を学習すると共に、看護・医療英語への興味・関心を高め、実践の場で英語を活かせる基礎づくりをする。

(到 達 目 標)看護英語の理解力をつけるために、看護英会話と日常英会話を学ぶ。

履修における注意事項（受講ルールなど）

授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。

回数	講 義 内 容	方法 (講義・実技・演習)	担当者
1	導入、初対面・病室での挨拶		
2	個人情報収集(1) Unit 1 & 2		
3	個人情報収集(2)、患者対応時の注意点 Unit 3		
4	初診時の英会話、診療科名 Unit 4		
5	クイズで学ぶ海外の看護・医療事情		
6	症状と受診科		
7	病院の案内、部署名 Unit 5		
8	小テスト(単語&リスニング)、洋楽で学ぶ英語		
9	異文化理解 I 外国人患者から見た日本の看護師及び病院		
10	問診の取り方、症状あれこれ Unit 6		
11	痛みと人体名称 Unit 7		
12	病歴聴取、疾患名 Unit 8		
13	異文化理解 II 医療・看護分野における異文化理解		
14	服薬指導 Unit 9		
15	検査の説明 Unit 10		
16	小テスト(オーラル)		
17	洋画で学ぶ医療英語		
18	手術の説明 Unit 11		
19	バイタル測定 Unit 12		
20	医療・看護関連記事読解		
21	英語ミニ劇：台本政策・配役・練習		
22	英語ミニ劇：発表		
23	まとめ		

■期末試験 () % □提出物 () % ■小テスト () % □実技試験 () %

□口頭試問 () % □発 表 () % ■その他 (グループワーク等) () %

ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。

教 科 書

書 名	著 者	出 版 社
クリスティーンのやさしい看護英会話		医学書院

参 考 書

書 名	著 者	出 版 社

教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）

基礎分野

授業科目名	レクリエーション								
担 当 者	久場 勝子								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期, 1年後期	授 業 回 数	8	時 間 数	16	単 位 数	
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)実技を通して心身のリフレッシュを身体の発達を図る。 人の関わりを大切にするコミュニケーションワークを学ぶ。									
(到 達 目 標)健康な身体作りの基礎を学び、体力の増強や健全な身体の発達を図る。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	人との関わりを大切にするコミュニケーション ワークⅠ 楽しさの重要性、自己の気づき 自己表現法を学ぶ					講義	久場 勝子		
2	DVD学習「レクリエーション支援」による 生きる喜び、生き甲斐作り、現場風景					講義	久場 勝子		
3	コミュニケーション・ゲームⅡ 新聞リハビリゲーム 楽しいレク、ダンス(講義) レク支援の定義(講義)					講義	久場 勝子		
4	遊びリテーション・ゲームⅠ お手玉・遊び 遊びの要素、効用、効果について学ぶ (手話ソング)					講義	久場 勝子		
5	遊びリテーション・ゲームⅠⅡ ①復元ゲームⅡワントウストーリー(演習) ①集団援助 ②個別援助(手話ソング)					講義	久場 勝子		
6	グループワーク(自己への気づき)ゲーム コミュニケーションワーク(自分を大切にする)(手話ソング)					GW	久場 勝子		
7	要支援高齢者でも楽しめる表現活動 (実技)テーマ 世界の国のファッションショー					実技	久場 勝子		
8	実技発表:グループ発表 自己表現(課題 ダンス&カチャーシー)					実技	久場 勝子		
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名			著 者			出 版 社			
無し									
参 考 書									
書 名			著 者			出 版 社			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

基礎分野

授業科目名	体育								
担当者	宮城 篤								
開講年次	1年	開講期	1年前期	授業回数	7	時間数	14	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)運動(身体活動)、スポーツの功罪、健康行動理論について熟考し、看護学生としてのアクティブライフスタイルの形成を目指す。									
(到達目標)健康な身体作りの基礎を学び、体力の増強や健全な身体の発達を図る。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容						方法 (講義・実技・演習)	担当者	
1	①ガイダンス ②ポジティブヘルスについて								
2	運動(身体活動)、スポーツの心理社会的恩恵								
3	リラクゼーションスキル ①呼吸法 ②ストレッチング ③漸進的弛緩法								
4	運動、スポーツと栄養								
5	有酸素運動、レジスタンストレーニング ①ウォーキング ②筋力強化の基礎								
6	インドアスポーツ 卓球、ニュースポーツ								
7	現代社会と競技スポーツ								
☒ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ; ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☒ その他 (積極的参加度(出席)) () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名			著者			出版社			
無し									
参考書									
書名			著者			出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

專門基礎分野

授業科目名	形態機能学 I								
担 当 者	伊藤 義則								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期, 1年後期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標 (概 要) 人体を構成する基本的な要素、および人体の恒常性を維持する基本的な要素の構造と機能を理解する。 (到 達 目 標) 人体を構成する基本的な要素、および人体の恒常性を維持する基本的な要素の構造と機能を理解する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	1. イントロダクション(形態機能学を看護職が学ぶ意義)					講義	伊藤 義則		
2～3	2. からだの基礎知識 1)解剖学的用語 2)ホメオスタシス(恒常性) 3)フィードバック機構					講義	伊藤 義則		
4～5	3. 細胞と組織 1)細胞 2)組織					講義	伊藤 義則		
6～8	4. 内部環境の恒常性 1)体液の分類と量 2)体液の電解質 3)体液のpH 4)動脈血の酸素分圧 5)血漿の糖分 6)体温					講義	伊藤 義則		
9～15	5. 恒常性を維持するための物質の流通 1)流通の媒体ー血液 (1)血液の恒常性の維持 (2)物質の運搬 (3)侵入物に対する防御 (4)血液凝固 2)流通路ー血管・リンパ管 (1)血管の構造 (2)肺循環と体循環 (3)リンパ管の構造と循環 3)流通の原動力ー心臓・血圧 (1)循環器系の構成 (2)心臓 ①心臓の構造 ②心臓の拍出機能 (3)血圧 (4)血圧の調節					講義	伊藤 義則		
☒ 期末試験 (100) % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☒ その他 (筆記試験、出席状況) (100) %									
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
第4版 看護形態機能学 生活行動からみるからだ					日本看護協会出版会				
トートラ 人体の構造と機能 第4版					丸善				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
フィジカルアセスメントガイドブック 第2版					医学書院				
解剖生理学 ナーシンググラフィカ①					メディカ出版				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	神経系による調整								
担当者	高良 勝俊								
開講年次	1年	開講期	1年前期, 1年後期	授業回数	8	時間数	16	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要) 恒常性維持のための調節機構のうち、神経系による調節機構の構造と機能を理解する。									
(到達目標) 恒常性維持のための調節機構および生体の防御機構の構造と機能を理解する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	授業の進め方オリエンテーション 神経系と構造と機能					講義	高良 勝俊		
2	脳神経と脊髄神経による情報伝達					講義、TBL	高良 勝俊		
3	中枢神経系：脳と脊髄神経①					講義	高良 勝俊		
4	虫垂神経系：脳と脊髄神経②					講義、TBL	高良 勝俊		
5	末梢神経と自律神経①					講義	高良 勝俊		
6	末梢神経と自律神経②					講義、TBL	高良 勝俊		
7	脳の高次機能					講義、演習	高良 勝俊		
8	自律神経による情報伝達					講義、演習	高良 勝俊		
☒ 期末試験（100）％ ☐ 提出物（ ）％ ☐ 小テスト（ ）％ ☐ 実技試験（ ）％ ☐ 口頭試問（ ）％ ☐ 発表（ ）％ ☐ その他（ ）（ ）％ ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者			出版社				
第4版 看護形態機能学 生活行動からみるからだ					日本看護協会出版会				
トートラ 人体の構造と機能 第4版					メディカ出版				
参考書									
書名		著者			出版社				
フィジカルアセスメントガイドブック 第2版					医学書院				
解剖生理学 ナーシンググラフィカ①					メディカ出版				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	内分泌系による調整・生体の防御機構								
担当者	伊藤 義則								
開講年次	1年	開講期	1年前期	授業回数	7	時間数	14	単位数	
授業の概要・到達目標									
(概要)恒常性維持のための内分泌系による調節機構および生体の防御機構の構造と機能を理解する。									
(到達目標)恒常性維持のための調節機構および生体の防御機構の構造と機能を理解する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1～3	1. 内分泌系による調節 (1)ホルモンの作用機序 (2)全身の内分泌腺と内分泌細胞 (3)ホルモン分泌の調節 (4)恒常性維持のためのホルモンのはたらき ①体液量の調節②代謝速度の調節 ③タンパク合成の促進④血糖の調節 ⑤血中ナトリウム・血中カリウムの調節 ⑥血中カルシウムの調節					講義	伊藤 義則		
4～7	2. 生体の防御機構 1)非特異的生体防御機構:自然免疫機構 2)特異的生体防御機構:獲得性免疫機構 3)生体防御の関連臓器					講義	伊藤 義則		
■期末試験（100）％ □提出物（ ）％ □小テスト（ ）％ □実技試験（ ）％ □口頭試問（ ）％ □発表（ ）％ □その他（ ）（ ）％ ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者			出版社				
第4版 看護形態機能学 生活行動からみるからだ					日本看護協会出版会				
トートラ 人体の構造と機能 第4版					丸善				
参考書									
書名		著者			出版社				
フィジカルアセスメントガイドブック 第2版					医学書院				
解剖生理学 ナーシンググラフィカ①					メディカ出版				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	日常生活行動「息をする」								
担 当 者	西崎 佳子								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期, 1年後期	授 業 回 数	6	時 間 数	12	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)人間は、呼吸において、からだをどのように使って日常生活行動を遂行しているか理解する。									
(到 達 目 標)人間は、活動・休息において、からだをどのように使って日常生活行動を遂行しているか理解する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	「息を吸う」「息を吐く」ための器官の名称と構造					講義	西崎 佳子		
2	「息をする」意義・呼吸運動の神経支配					講義	西崎 佳子		
3～4	気道の構造と機能 咳・たん・くしゃみがおこるしくみ					講義	西崎 佳子		
5	呼吸困難とチアノーゼ・外呼吸と内呼吸・ガス交換					講義	西崎 佳子		
6	スパイロとフローボリュームカーブ					講義	西崎 佳子		
☒ 期末試験（100）％ ☐ 提出物（ ）％ ☐ 小テスト（ ）％ ☐ 口頭試問（ ）％ ☐ 発 表（ ）％ ☐ その他（ ）（ ）％ ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名			著 者			出 版 社			
第4版 看護形態機能学 生活行動からみるからだ						日本看護協会出版会			
トートラ 人体の構造と機能 第4版						丸善			
参 考 書									
書 名			著 者			出 版 社			
フィジカルアセスメントガイドブック 第2版						医学書院			
解剖生理学 ナーシンググラフィカ①						メディカ出版			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	日常生活行動「動く」								
担当者	高良 勝俊								
開講年次	1年	開講期	1年前期, 1年後期	授業回数	9	時間数	18	単位数	
授業の概要・到達目標									
(概要)人間は、活動・休息において、からだをどのように使って日常生活行動を遂行しているか理解する。									
(到達目標)人間は、活動・休息において、からだをどのように使って日常生活行動を遂行しているか理解する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1～6	1. 日常生活行動「動く」 1)姿勢 (1)体位と構え (2)赤ちゃんが歩くまで (3)立位の保持 2)神経から筋への指令と筋の収縮 3)意図的でない運動:反射 4)意図的な運動:随意運動 5)骨格・骨格筋・関節 (1)骨格 (2)関節 (3)骨格筋 (4)筋の収縮 6)日常生活での基本的な動き (1)歩く (2)つまむ (3)表情					講義、演習	高良 勝俊		
7	2. 日常生活行動「話す・聞く」 1)声を出す (1)大脳の言語野 (2)発生に関わる器官					講義	高良 勝俊		
8	3. 日常生活行動「入浴する」 1)垢を落とす 2)皮膚と付属物 (1)表皮:ケラチノサイト (2)汗腺・脂腺・毛 3)皮膚・粘膜の血管と神経 4)温まる					講義	高良 勝俊		
9	4. 日常生活行動「眠る」 1)からだのリズム (1)サーカディアンリズム (2)基礎的な「活動－休息」の周期 2)眠り (1)ノンレム睡眠・レム睡眠 (2)睡眠パターン					講義	高良 勝俊		
■期末試験（100）％ □提出物（ ）％ □小テスト（ ）％ □実技試験（ ）％ □口頭試問（ ）％ □発表（ ）％ □その他（ ）（ ）％ ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者			出版社				
第4版 看護形態機能学 生活行動からみるからだ					日本看護協会出版会				
トートラ 人体の構造と機能 第4版					丸善				
参考書									
書名		著者			出版社				
フィジカルアセスメントガイドブック 第2版					医学書院				
解剖生理学 ナーシンググラフィカ①					メディカ出版				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名								日常生活行動「食べる」											
担当者								石原 吏絵											
開講年次		1年		開講期		1年前期、1年後期		授業回数		5		時間数		10		単位数		1	
授業の概要・到達目標																			
(概要)人間は、食べることにおいて、からだをどのように使って日常生活行動を遂行しているか理解できる。																			
(到達目標)人間は、消化・排泄・再生産において、からだをどのように使って日常生活行動を遂行しているか理解する。																			
履修における注意事項（受講ルールなど）																			
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。																			
回数		講義内容										方法 (講義・実技・演習)		担当者					
1		1. 日常生活行動「食べる」とは 1)食欲 2)食行動										講義		石原 吏絵					
2		3)咀嚼し味わう 4)飲み込む(嚥下)										講義		石原 吏絵					
3		5)消化と吸収 ①消化管の構造と機能 ・胃の構造と機能 ・小腸の構造										講義		石原 吏絵					
4		・小腸の機能 ・大腸の構造と機能										講義		石原 吏絵					
5		②消化管付属器官の構造と機能 ・膵臓、肝臓、胆嚢の構造と機能										講義		石原 吏絵					
■期末試験（100）％ □提出物（ ）％ □小テスト（ ）％□実技試験（ ）％ □口頭試問（ ）％ □発表（ ）％ □その他（ ）（ ）％ ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。																			
教科書																			
書名						著者						出版社							
第4版 看護形態機能学 生活行動からみるからだ												日本看護協会出版会							
トートラ 人体の構造と機能 第4版												丸善							
参考書																			
書名						著者						出版社							
フィジカルアセスメントガイドブック 第2版												医学書院							
解剖生理学 ナーシンググラフィカ①												メディカ出版							
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）																			

授業科目名	日常生活行動「トイレに行く」								
担当者	嶺井 良恵								
開講年次	1年	開講期	1年前期	授業回数	6	時間数	12	単位数	
授業の概要・到達目標									
(概要)人間は、排泄において、からだをどのように使って日常生活行動を遂行しているか理解できる。									
(到達目標)人間は、主化・排泄・再生産において、からだをどのように使って日常生活行動を遂行しているか理解する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1～6	日常生活行動「トイレに行く」 1)排尿 (1)尿意 (2)排尿 ①排尿路の構造 ②尿の貯蔵と排尿 (3)尿の生成 ①腎臓の構造と機能 ②尿生成のメカニズム：濾過・再吸収・分泌 (4)体液量調節の機構 ①レニン・アンギオテンシン・アルドステロン系 ②抗利尿ホルモン 2)排便 (1)便意 (2)排便					講義	嶺井 良恵		
☒ 期末試験（100）％ ☐ 提出物（ ）％ ☐ 小テスト（ ）％ ☐ 実技試験（ ）％ ☐ 口頭試問（ ）％ ☐ 発表（ ）％ ☐ その他（ ）（ ）％ ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者			出版社				
第4版 看護形態機能学 生活行動からみるからだ					日本看護協会出版会				
トートラ 人体の構造と機能 第4版					丸善				
参考書									
書名		著者			出版社				
フィジカルアセスメントガイドブック 第2版					医学書院				
解剖生理学 ナーシンググラフィカ①					メディカ出版				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

基礎専門分野

授業科目名	子どもを産む								
担 当 者									
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期	授 業 回 数	4	時 間 数	8	単 位 数	
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)人間は、再生産において、からだをどのように使って日常生活行動を遂行しているか理解できる。									
(到 達 目 標)人間は、消化・排泄・再生産において、からだをどのように使って日常生活行動を遂行しているか理解する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	男女の性の決定 女性生殖器の構造					講義			
2	女性の性周期と性ホルモン エストロゲンとプロゲステロンの作用					講義			
3	妊娠の成立 ヒトの器官形成や胎盤の役割 出産時に働くホルモンの作用					講義			
4	女性の更年期・老年期のホルモン変動に伴う変化 男性生殖器の構造と性ホルモン					講義			
☒ 期末試験（100）％ ☐ 提出物（ ）％ ☐ 小テスト（ ）％ ☐ 実技試験（ ）％ ☐ 口頭試問（ ）％ ☐ 発 表（ ）％ ☐ その他（ ）（ ）％ ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
第4版 看護機能形態学 生活行動からみるからだ					日本看護協会出版会				
トートラ 人体の構造と機能 第4版					丸善				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
フィジカルアセスメントガイドブック 第2版					医学書院				
解剖生理学 ナーシンググラフィカ①					メディカ出版				
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学①					医学書院				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

基礎専門分野

授業科目名	生化学								
担当者	稲福 征志/ 梅村 正幸								
開講年次	1年	開講期	1年前期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)人体を構成する化学物質の性状、その分布および代謝を理解する。									
(到達目標)人体の構成成分である化学物質の性状、その分布及び代謝について理解する。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容						方法 (講義・実技・演習)	担当者	
1	生化学の基礎知識 細胞の構造と機能						講義		
2	糖質の基礎						講義		
3	脂質の基礎						講義		
4	タンパク質の基礎						講義		
5	核酸、水、無機質について						講義		
6	血液と尿、ポルフィリン代謝						講義		
7	ホルモンと生理活性物質(サイトカイン)						講義		
8	酵素						講義		
9	ビタミンと補酵素						講義		
10	遺伝情報、核酸代謝						講義		
11	人体における糖質・脂質・タンパク質代謝(1)						講義		
12	人体における糖質・脂質・タンパク質代謝(2)						講義		
13	代謝異常による疾患との関係(1)						講義		
14	代謝異常による疾患との関係(2)						講義		
15	先天性代謝異常症						講義		
☒ 期末試験 (100) % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名			著者			出版社			
系統看護学講座 専門基礎 人体の構造と機能 [2] 生化学						医学書院			
参考書									
書名			著者			出版社			
イメージできる臨床生化学						メディカ出版			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

基礎専門分野

授業科目名	栄養学Ⅰ								
担当者	金城 典子								
開講年次	1年	開講期	1年後期	授業回数	8	時間数	16	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)健康と食生活の関わりについて理解し、栄養学の基礎を学習する。									
(到達目標)生体が正常な営みをするのに必要な栄養に関する基礎的な知識を学ぶ。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	健康と食					講義	金城 典子		
2	食生活の現状					講義	金城 典子		
3	ライフサイクルと栄養					講義	金城 典子		
4	五大栄養素					講義	金城 典子		
5	ビタミン、無機質、三色食品群～食事バランスガイド					講義	金城 典子		
6	日本人の食事摂取基準					講義	金城 典子		
7	消化・吸収、運動					講義	金城 典子		
8	消化・吸収、運動					講義	金城 典子		
☒ 期末試験 () % ☒ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ; ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☒ その他 (出席状況) () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名			著者			出版社			
看護栄養学 第3版						医歯薬出版			
参考書									
書名			著者			出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

基礎専門分野

授業科目名	微生物学								
担 当 者	只野 昌之/ 梅村 正幸								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)微生物学が生体に及ぼす影響を理解し、病原微生物の種類と特徴から生体への影響を予防する方法を学ぶ。									
(到 達 目 標)微生物の特徴と生体に及ぼす影響を理解する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	微生物と微生物学					講義			
2	微生物と感染症(成立・発症・治療)					講義			
3	感染源と感染経路、滅菌と消毒					講義			
4	感染症の治療－化学療法					講義			
5	ウイルス学総論(特徴、構造、増殖、分類)					講義			
6	生体防御機構総論					講義			
7	ウイルス学各論1					講義			
8	生体防御機構各論1					講義			
9	ウイルス学各論2					講義			
10	生体防御機構各論2					講義			
11	感染症の現状と対策、感染症の検査・診断					講義			
12	細菌学総論					講義			
13	細菌学各論1					講義			
14	細菌学各論2					講義			
15	真菌・寄生虫学					講義			
☒ 期末試験 (100) % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名			著 者			出 版 社			
系統看護学講座 専門基礎 疾病のなりたちと回復の促進〔4〕微生物学						医学書院			
参 考 書									
書 名			著 者			出 版 社			
イメージできる臨床生化学						メデイカ出版			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

基礎専門分野

授業科目名	病態生理学Ⅰ								
担 当 者	安谷屋 均								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要) 疾病と成り立ちと健康阻害外因子およびその対策を学ぶ。									
(到 達 目 標) 病気の成り立ちを学び健康阻害因子を把握する。									
履修における注意事項 (受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	病態生理とは						安谷屋 均		
2	病気の原因						安谷屋 均		
3	先天異常と遺伝子異常					講義	安谷屋 均		
4	代謝障害					講義	安谷屋 均		
5	循環器障害 1					講義	安谷屋 均		
6	循環器障害 2					講義	安谷屋 均		
7	炎症と免疫					講義	安谷屋 均		
8	アレルギーと自己免疫疾患					講義	安谷屋 均		
9	感染症 1					講義	安谷屋 均		
10	感染症 2					講義	安谷屋 均		
11	腫瘍 1					講義	安谷屋 均		
12	腫瘍 2					講義	安谷屋 均		
13	腫瘍 3					講義	安谷屋 均		
14	老化と死					講義	安谷屋 均		
15	総まとめ					講義	安谷屋 均		
☒ 期末試験 (100) % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名			著 者			出 版 社			
系統看護学講座 専門基礎 疾病のなりたちと回復の促進〔1〕病理学						医学書院			
参 考 書									
書 名			著 者			出 版 社			
教員からのメッセージ (予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

基礎専門分野

授業科目名 病態生理学Ⅱ									
担 当 者 安谷屋 均									
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年後期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要) 疾病の形態と機能・代謝の変化を学ぶ。									
(到 達 目 標) からだの異常のメカニズムと症候および異常を把握する方法を理解する。									
履修における注意事項 (受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	人体の生理構造総論					講義	安谷屋 均		
2	循環器系の疾患 1					講義	安谷屋 均		
3	循環器系の疾患 2					講義	安谷屋 均		
4	血液・造血器系の疾患					講義	安谷屋 均		
5	呼吸器系の疾患 1					講義	安谷屋 均		
6	呼吸器系の疾患 2					講義	安谷屋 均		
7	消化器系の疾患 1					講義	安谷屋 均		
8	消化器系の疾患 2					講義	安谷屋 均		
9	腎・泌尿器系疾患					講義	安谷屋 均		
10	生殖器系および乳腺の疾患					講義	安谷屋 均		
11	内分泌系の疾患					講義	安谷屋 均		
12	脳・神経・筋肉系の疾患					講義	安谷屋 均		
13	歩ね・関節系の疾患					講義	安谷屋 均		
14	耳・眼・皮膚の疾患					講義	安谷屋 均		
15	総まとめ					講義	安谷屋 均		
☒ 期末試験 (100) % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ; ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名					著 者		出 版 社		
系統看護学講座 専門基礎 疾病のなりたちと回復の促進〔1〕病理学							医学書院		
参 考 書									
書 名					著 者		出 版 社		
形態機能学 各看護学									
教員からのメッセージ (予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

授業科目名 薬理学Ⅰ									
担 当 者 笠原 大吾									
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)薬物が生体に及ぼす作用・副作用を学び、薬物の取り扱いと管理方法を習得する。									
(到 達 目 標)薬物の特徴、作用機序、人体への影響及び薬物の管理について理解する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容						方法 (講義・実技・演習)	担当者	
1	1. イントロダクション ―薬理学― (薬理学とは、薬理作用、薬力学)						講義	笠原 大吾	
2	2. 薬と法令(薬事法規、保助看法との関係、薬剤師・看護師の役割、薬物の保管・管理)、そのほか						講義	笠原 大吾	
3	3. 薬物療法(服薬状況・コンプライアンス、プラセボ効果、療養者に対する服薬方法の工夫と指導)						講義	笠原 大吾	
4～5	4. 薬物と薬剤(一般名・化学名、薬の種類、剤形、処方箋、添付文書、服薬指導)						講義	笠原 大吾	
6～7	5. 薬物に対する生体の反応(用法・要領、薬物受容体、主作用と副作用、個体差・精査・腎臓)						講義	笠原 大吾	
8～9	6. 薬物の体内動態(吸収・分散・代謝・排泄、薬物血中濃度、薬物相互作用)						講義	笠原 大吾	
10	7. 投与方法と薬理作用(経口投与、非経口投与)						講義	笠原 大吾	
11	8. 薬物中毒(急性中毒、依存症と禁断症状)と副作用						講義	笠原 大吾	
12	9. まとめ(問題演習含む)						講義	笠原 大吾	
13	1. 感染症治療薬(化学療法剤、抗生物質、抗菌薬、抗結核薬、抗ウイルス薬、抗真菌薬、抗寄生虫薬)						講義	笠原 大吾	
14	2. 悪性腫瘍治療薬(分子標的治療薬)						講義	笠原 大吾	
15	試験・まとめ						講義	笠原 大吾	
☒ 期末試験 (75) % ☒ 提出物 (25) % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者				出 版 社			
ナーシング・グラフィカ 疾病のなりたち② 臨床薬理学						MCメディカ出版			
参 考 書									
書 名		著 者				出 版 社			
ナースのためのくすりの事典2019						へるす出版			
イメージできる臨床薬理学						メディカ出版			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

基礎専門分野

授業科目名	現代医療論								
担 当 者	非常勤講師								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期, 1年後期	授 業 回 数	8	時 間 数	16	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)医学・医療の変遷や本質、現代医療の諸問題等について理解を深め、望ましい医療者・看護師像について学ぶ。									
(到 達 目 標)医学・医療の変遷や本質、現代医療の諸問題などについて理解を深め、望ましい医療者・看護師像を学ぶ。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	医学の原点①					講義	非常勤講師		
2	医学の原点②					講義	非常勤講師		
3	健康と疾病①					講義	非常勤講師		
4	健康と疾病②					講義	非常勤講師		
5	医学と医療					講義	非常勤講師		
6	医療供給体制					講義	非常勤講師		
7	現代医療における諸問題①					講義	非常勤講師		
8	現代医療における諸問題②					講義	非常勤講師		
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☒ その他 (筆記試験、課題提出、出席状況) (100) % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名			著 者			出 版 社			
現代医療論						メヂカルフレンド社			
参 考 書									
書 名			著 者			出 版 社			
看護者の責務						日本看護協会出版会			
社会福祉、関係法規						医学書院			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

専門分野 I

基礎看護学

授業科目名	基礎看護学概論								
担 当 者	金城 美智子								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標 (概 要)「看護とは」を軸に、看護教育と歴史、看護の主要概念(人間・健康・環境)ナイチンゲールのあkン後、看護理論、看護と法律・経済、保健・医療・福祉の連携、等について学び、看護専門職の在り方について考える。さらに、プロジェクト学習を通して人間の健康の理解を深める。 (到 達 目 標)看護の理念、看護実践の原理と倫理、看護の対象となる人間とその健康、看護職者の社会的役割など、多角的な観点から看護学全般に対する学問的基盤を学ぶ。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	看護学入門 私が考える看護とは					講義、GW	金城 美智子		
2	看護の対象とは 看護の目的は					講義、GW	金城 美智子		
3	看護の歴史 近代看護への道 沖縄の看護の歴史					講義、DVD	金城 美智子		
4	看護とは ナイチンゲールの看護					講義、DVD	金城 美智子		
5	看護実践における重要な概念 人間とは 健康とは 環境とは					講義、GW	金城 美智子		
6	「看護師－患者」の援助関係と信頼関係					講義、GW	金城 美智子		
7	看護の役割と機能					講義、GW	金城 美智子		
8～9	看護における倫理					講義、GW	金城 美智子		
10	看護実践を支えるもの 看護制度、看護行政					講義、GW	金城 美智子		
11	専門職とは 専門職としての役割と自立、責任 看護基礎教育の歴史的変遷					講義、GW	金城 美智子		
12～15	人間の健康 「大切な人を守ろう」プロジェクト学習					GW、発表	金城 美智子		
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () %									
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名					著 者	出 版 社			
新体系 看護学全書 基礎看護学① 看護学概論						メヂカルフレンド社			
新版看護者の基本的責務						日本看護協会出版会			
参 考 書									
書 名					著 者	出 版 社			
ナイチンゲール看護覚え書き						日本看護協会出版会			
ナイチンゲール伝 図説 看護覚え書とともに、キラリ看護						医学書院			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

授業科目名	看護理論								
担 当 者	高良 勝俊								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期, 1年後期	授 業 回 数	8	時 間 数	16	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)看護理論を用いた学習を通して、看護の対象を理解する。また、看護理論を臨床で活用するための基本的な考え方を理解する。									
(到 達 目 標)看護理論を用いた学習を通して、看護の対象を理解し、臨床で活用するための基本的な考え方を理解する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	看護理論とは何か 1. 日常生活における「看護」 2. 「看護理論」とは 3. なぜ看護理論を学ぶのか 4. 看護理論はどのように発展したのか(ナイチンゲールからケアリング理論まで)					講義、GW	高良 勝俊		
2～6	看護理論を使ったケースカンファレンスの実際 1. ヘンダーソンのニード論を活用してケースカンファレンスを実践する ①ケースカンファレンスの準備 ②ケースカンファレンスの実践 ③ケースカンファレンスの振り返り					講義、GW	高良 勝俊		
7～8	看護理論を実践に活かすプロセス 1. 看護理論によって対象をどう理解するのか 2. 看護理論を臨床に活かすには 3. 看護理論を実践に活かすプロセス 4. ナイチンゲール、ヘンダーソン、ベナーの理論を活用してリフレクションする					講義、GW	高良 勝俊		
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
やさしい看護理論―現場で活かせるベースの考え方―					メディカ出版				
新体系 看護学全書 基礎看護学①看護学概論					メヂカルフレンド社				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	基礎看護学方法論 I / 活動・休息								
担当者	嶺井 良恵								
開講年次	1年	開講期	1年前期	授業回数	7	時間数	14	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)姿勢・活動および睡眠・休息が人に与える影響、活動動作における阻害因子を理解し体位変換、移動・移送方法を学ぶ。									
(到達目標)活動・睡眠、療養環境を整える援助を実践する基礎的知識、技術、態度を習得する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	オリエンテーション 活動と休息とは 1. 安楽な体位の保持 2. ボディメカニクスの基本と力学の応用					W、デモンストレーション	嶺井 良恵		
2	3. 活動のアセスメント 1) 廃用症候群・深部静脈血栓症・褥瘡など 2) 運動機能のアセスメント					講義	嶺井 良恵		
3	4. 運動機能の低下した人の援助 5. 体位変換の援助・車椅子への移乗援助					デモンストレーション	嶺井 良恵		
4～5	演習 水平移動 体位変換 仰臥位から 側臥位・端座位へ 移乗動作					演習	嶺井 良恵		
6	移送の援助 (車椅子・ストレッチャー・歩行)					講義、GW	嶺井 良恵		
7	7. 安静保持の援助 8. 睡眠の援助					講義	嶺井 良恵		
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者			出版社				
新体系 看護学全書 基礎看護学②基礎看護技術Ⅰ、基礎看護学③基礎看護技術Ⅱ					メヂカルフレンド社				
写真で分かる基礎看護技術アドバンス					インターメディカ				
参考書									
書名		著者			出版社				
看護過程に沿った対象看護 第4版					学研				
トートラ人体の構造と機能					丸善				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

専門分野 I

授業科目名	基礎看護学方法論 I / 快適な環境								
担 当 者	三浦 夕香								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期	授 業 回 数	8	時 間 数	16	単 位 数	
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)環境が人に及ぼす影響について、生活環境や環境の要素について学ぶ。 病室の環境について安全・安楽を考慮しながら環境整備について学ぶ。									
(到 達 目 標)活動・睡眠、療養環境を整える援助を実践する基礎的知識、技術、態度を習得する。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方 法 (講義・実技・演習)	担 当 者		
1	1. 病床環境を考える					講義、GW、発表	三浦 夕香		
2	2. 病床環境のアセスメントと整備の方法 1)ベッドメイキング 2)環境整備					デモンストレーション	三浦 夕香		
3~4	3. 演習① 1)クローズドベッド 2)オープンベッド					演習	三浦 夕香		
5	4. 臥床患者のリネン交換 1)目的 2)方法 3)留意点					デモンストレーション	三浦 夕香		
6~7	5. 演習② 1)臥床患者のリネン交換					演習	三浦 夕香		
8	6. 環境とは 7. 病床環境とは 8. 物理的環境要素 (室温、湿度、気流、騒音、色彩)					GW、発表	三浦 夕香		
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () %									
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
新体系 看護学全書 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ					メヂカルフレンド社				
写真でわかる基礎看護技術アドバンス					インターメディカ				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
ナイチンゲール看護覚え書き					日本看護協会出版会				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

授業科目名	基礎看護学方法論Ⅱ／清潔と衣生活								
担当者	三浦 夕香								
開講年次	1年	開講期	1年前期	授業回数	11	時間数	22	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)皮膚の機能、清潔の意義を理解し、清潔の援助の方法を学ぶ。									
(到達目標)看護の対象と人間関係を築き、健康状態を把握するための基礎的知識、技術、態度を習得する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	1. 清潔援助の実際 1)足浴援助の基礎知識					デモンストレー	三浦 夕香		
2～3	2. 演習① 臥床患者の足浴					演習	三浦 夕香		
4	3. 陰部の清潔の意義					デモンストレー	三浦 夕香		
5	4. 演習② 陰部洗浄					演習	三浦 夕香		
6	5. 全身正式援助の基礎知識					デモンストレー	三浦 夕香		
7～8	6. 演習③ 麻酔のある患者の全身清拭					演習	三浦 夕香		
9	7. 洗髪援助の基礎知識 8. 口腔を清潔にする意義					デモンストレー	三浦 夕香		
10～11	9. 人にとっての清潔とは 10. 清潔行動に影響するアセスメント 11. 病床での衣生活の援助					W、まとめ、発表	三浦 夕香		
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名					著者	出版社			
新体系 看護学全書 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ						メヂカルフレンド社			
写真でわかる基礎看護技術アドバンス						インターメディカ			
参考書									
書名					著者	出版社			
キラリ看護						医学書院			
トータル人体の構造と機能						インターメディカ			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	基礎看護学方法論Ⅱ／コミュニケーションの技術								
担 当 者	長嶺 千寿子								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期	授 業 回 数	5	時 間 数	10	単 位 数	
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)看護実践に必要なコミュニケーションの基本および技法について学ぶ。									
(到 達 目 標)看護の対象と人間関係を築き、健康状態を把握するための基礎的知識、技術、態度を習得する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	コミュニケーションの基本					講義、GW	長嶺 千寿子		
2	医療的コミュニケーション 1)専門職者のコミュニケーション 2)誠実な対応 3)共感的理解 4)コミュニケーションと時間 5)治療的コミュニケーション 6)チーム医療におけるコミュニケーション					講義	長嶺 千寿子		
3～4	演習 ・看護場面における報告 ロールプレー					演習	長嶺 千寿子		
5	演習まとめ					講義	長嶺 千寿子		
☐ 期末試験（ ）％ ☐ 提出物（ ）％ ☐ 小テスト（ ）％ ☐ 実技試験（ ）％ ☐ 口頭試問（ ）％ ☐ 発 表（ ）％ ☐ その他（ ）（ ）％ ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
新体系 看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ					メヂカルフレンド社				
写真でわかる基礎看護技術					インターメディカ				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
仲間とみがく看護のコミュニケーションセンス					医歯薬出版株式会社				
看護に活かすプロセスレコード					ヒロカワ				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	基礎看護学方法論Ⅲ／排泄の援助								
担 当 者	嶺井 良恵								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期, 1年後期	授 業 回 数	10	時 間 数	20	単 位 数	
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)人間にとっての排泄の意義を理解し、基本的な援助方法を学ぶ。 排泄障害児の援助方法について学ぶ。									
(到 達 目 標)看護の対象と人間関係を築き、健康状態を把握するための基礎的知識、技術、態度を習得する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	1. 排泄援助の実際 1)ポータブルトイレの使用方法 2)便器・尿器を用いた援助方法 3)おむつ交換の援助方法					デモンストレー	嶺井 良恵		
2	2. 演習① 1)便器・尿器を用いた援助方法					演習	嶺井 良恵		
3	3. 演習② 2)おむつ交換の援助方法					演習	嶺井 良恵		
4	4. 排尿障害と援助 一時的導尿の実際					デモンストレー	嶺井 良恵		
5～6	5. 演習③ 1)一時的導尿					演習	嶺井 良恵		
7	6. 排便障害と援助 グリセリン浣腸の実際					デモンストレー	嶺井 良恵		
8～9	7. 演習④ 1)グリセリン浣腸浣腸					演習	嶺井 良恵		
10	8. 排泄援助の基礎知識 9. 排泄援助の基本姿勢					講義、GW	嶺井 良恵		
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名					著 者	出 版 社			
新体系 看護学全書 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ						メヂカルフレンド社			
写真でわかる基礎看護技術アドバンス						インターメディカ			
参 考 書									
書 名					著 者	出 版 社			
看護過程に沿った対象看護						学研			
トートラ人体の構造と機能						丸善			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	基礎看護学方法論Ⅲ／食生活の援助								
担 当 者	石原 吏絵								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期	授 業 回 数	5	時 間 数	10	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)食事の意義を理解し、安全な食事の援助について理解する。									
(到 達 目 標)看護の対象と人間関係を築き、健康状態を把握するための基礎的知識、技術、態度を習得する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容						方法 (講義・実技・演習)	担当者	
1	1. 食事・栄養摂取の意義としくみ 2. 食事・栄養摂取のアセスメント						講義	石原 吏絵	
2	3. 患者への食事の援助 4. 経腸栄養、中心静脈栄養、末梢静脈栄養						講義	石原 吏絵	
3	5. 経口摂取できる患者の食事介助						講義、GW	石原 吏絵	
4～5	6. 演習 対象に適した姿勢調整と援助、口腔ケア 1) 上体を起こせる患者 2) 上体を起こせない患者						演習	石原 吏絵	
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ; ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
新体系 看護学全書 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ					メヂカルフレンド社				
写真でわかる基礎看護技術アドバンス					インターメディカ				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
トートラ人体の構造と機能					丸善				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	基礎看護学方法論Ⅳ／看護と安全								
担 当 者	長嶺 千寿子								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年後期	授 業 回 数	8	時 間 数	16	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)看護活動の基盤となる看護技術の概念、特徴を理解する。 看護学実習における安全の意義、安全を守る方法を考える。									
(到 達 目 標)看護実践する際に必要な共通する安全・安楽の技術について基礎的知識、技術、態度を習得する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	1. 生活環境の基盤となる看護技術でのヒヤリハット 事例：煩雑なベッドサイドでの対応					講義	長嶺 千寿子		
2	2. 看護における安全の意義 1)看護技術の基本原則 2)安全を点検する3つの側面 3. 医療安全と事故防止 1)医療安全の概念 2)ヒューマンエラーとは 3)医療事故防止					講義	長嶺 千寿子		
3	4. 日常生活援助における安全の視点					講義	長嶺 千寿子		
4～5	5. 「ヒヤリハット事例に学ぶ看護技術」 1)与薬・酸素吸入場面でのヒヤリハット 2)体位・姿勢の保持、移動場面でのヒヤリハット 事例：トイレ移動時のふらつき転倒					講義	長嶺 千寿子		
6	6. 診療の補助技術における安全					講義	長嶺 千寿子		
7	7. 重要所見の観察・報告・記録の誤り・忘れ					講義	長嶺 千寿子		
8	8. 実習で、学んだ安全を守る看護師の役割					講義	長嶺 千寿子		
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ■その他 (筆記試験、提出物、ワーク参加状況、 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。 出席状況) (100) %									
教 科 書									
書 名		著 者		出 版 社					
学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術				医学書院					
新体系 看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ				メヂカルフレンド社					
参 考 書									
書 名		著 者		出 版 社					
看護者の基本的責務				日本看護協会出版会					
医療安全ワークブック				医学書院					
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	基礎看護学方法論Ⅳ／感染防止の技術								
担 当 者	三浦 夕香								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期, 1年後期	授 業 回 数	7	時 間 数	14	単 位 数	
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)医療の場における感染防止の基本原則を理解し、看護師に必要な感染防止の技術を学ぶ。									
(到 達 目 標)看護実践する際に必要な共通する安全・安楽の技術について基礎的知識、技術、態度を習得する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	1. 感染と感染予防策の基礎知識 1)感染成立の要件 2)感染予防策の基礎知識 2. 感染予防における看護師の責務と役割					講義	三浦 夕香		
2	3. スタンダードプリコーション 4. 感染経路別予防策					デモンストレー	三浦 夕香		
3	演習① 1)衛生的な手洗いができる 2)個人用防護具の取扱いができる (手袋、マスク、ガウン、エプロン)					演習	三浦 夕香		
4	5. 感染源への対策 1)医療器材の洗浄・滅菌法・消毒法					講義	三浦 夕香		
5	6. 滅菌物の取り扱い 7. 隔離法・感染源の拡散防止					デモンストレー	三浦 夕香		
6～7	演習② 創傷処置を通して、滅菌物の取り扱い、滅菌操作、感染性廃棄物の取り扱いができる ①滅菌物の取り扱い ②滅菌手袋の装着 ③感染を考慮した後片づけ					演習	三浦 夕香		
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名					著 者		出 版 社		
新体系 看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ							メヂカルフレンド社		
写真でわかる基礎看護技術アドバンス							インターメディカ		
参 考 書									
書 名					著 者		出 版 社		
看護者の基本的責務							日本看護協会出版会		
ヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術							医学書院		
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	基礎看護学方法論Ⅴ／観察の技術								
担 当 者	嶺井 良恵								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期, 1年後期	授 業 回 数	8	時 間 数	16	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)対象の健康状態を把握するフィジカルアセスメントにおける基本技術および生命の徴候であるバイタルサインの基本について理解する。									
(到 達 目 標)看護実践する際に必要な対象理解や問題解決方法についての基礎的知識、技術、態度を習得する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1～4	1. バイタルサイン 1)バイタルサインの観察・目的 2)体温 3)脈拍 4)呼吸 5)血圧 6)意識レベル					講義	嶺井 良恵		
5～6	2. 演習 バイタルサインの測定 (体温、脈拍、呼吸、血圧)					演習	嶺井 良恵		
7	3. 身体計測 (身長・体重・腹囲、頭囲など)					講義、演習	嶺井 良恵		
8	4. 看護記録 (経過表・SOAP記録・クリティカルパスなど) 5. 観察とは 6. 看護における観察の意義					講義、GW	嶺井 良恵		
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☒ その他 (筆記試験、実技試験、レポート、 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。 出席状況) (100) %									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
新体系 看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ					メヂカルフレンド社				
写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス					インターメディカ				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
トータル人体の構造と機能					丸善				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

専攻分野 I									
授業科目名		基礎看護学方法論Ⅴ／看護の思考							
担 当 者		三浦 タ香							
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期, 1年後期	授 業 回 数	7	時 間 数	14	単 位 数	
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)看護過程の構成要素を理解しポートフォリオ・プロジェクト学習を活用しながら、看護を展開する基礎的思考方法を習得する。									
(到 達 目 標)看護実践する際に必要な対象理解や問題解決方法についての基礎的知識、技術、態度を習得する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容						方 法 (講義・実技・演習)	担 当 者	
1～2	看護におけるリフレクション 1. 看護におけるリフレクションの意義 2. リフレクションのための基本的なスキル 3. リフレクティブサイクル 4. 看護のプロセスとリフレクション 5. リフレクションジャーナルの枠組み						講義、GW	三浦 タ香	
3～5	6. 事例から患者の全体像を把握する						講義、GW	三浦 タ香	
6～7	8. リフレクションの思考を基軸に看護の思考を学習する						講義、GW	三浦 タ香	
□期末試験()% □提出物()% □小テスト()% □実技試験()%									
□口頭試問()% □発 表()% ■その他(提出物、グループワークの状況、 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。出席状況)(100) %									
教 科 書									
書 名		著 者				出 版 社			
新体系 看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ						メヂカルフレンド社			
ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術						メディカ出版			
参 考 書									
書 名		著 者				出 版 社			
課題解決と論理的思考が身に付くプロジェクト学習の基本と手法 (教科書)						教育出版			
ポートフォリオとプロジェクト学習						医学書院			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	基礎看護学方法論Ⅵ／検査・治療時の援助								
担 当 者	大城 幸仁								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年後期	授 業 回 数	7	時 間 数	14	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)診療における看護の役割および検査・診療に伴う援助方法を学ぶ。									
(到 達 目 標)検査・治療に伴う看護の役割を理解し、基本的な診療の援助技術を習得する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容						方法 (講義・実技・演習)	担当者	
1	1. 検査・診療における看護の役割 2. 検査解除に関する基礎知識 3. 臨床で結果が分かる検査(SPO ₂)						講義	大城 幸仁	
2	4. 検体検査(排泄物・穿刺液)とその取扱い 5. 腰椎・胸腔・腹腔穿刺時の看護 6. 生体検査時の看護						講義	大城 幸仁	
3	7. 創傷管理と包帯法の基礎知識 1)包帯法 2)三角巾						デモンストレー	大城 幸仁	
4	8. 演習① 1)包帯法 2)三角巾						演習	大城 幸仁	
5	7. 血液検査の援助 1)静脈血採血方法 2)動脈血採血方法 3)毛細血管採血法(血糖測定)						デモンストレー	大城 幸仁	
6	7. 演習② 静脈血採血方法						演習	大城 幸仁	
7	8. 診療に伴う援助・まとめ						講義	大城 幸仁	
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ■その他 (筆記試験、レポート、実技試験、 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。 出席状況) (100) %									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
新体系 看護学全書 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ					メヂカルフレンド社				
写真でわかる 臨床看護技術アドバンス①・②					インターメディカ				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
トータル人体の構造と機能					丸善				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	基礎看護学方法論Ⅵ／与薬の援助								
担当者	三浦 夕香								
開講年次	1年	開講期	1年後期	授業回数	8	時間数	16	単位数	
授業の概要・到達目標									
(概要)薬物療法の意義を理解し、薬物療法を受ける患者に必要な援助の方法を学ぶ。									
(到達目標)検査・治療に伴う看護の役割を理解し、基本的な診療の援助技術を習得する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	1. 予約に関する基礎知識 1)薬物の取り扱いと保存 2)薬物療法における看護の役割と機能					講義	三浦 夕香		
2	2. 与薬方法と援助 1)内用薬の援助 2)外用薬の援助					講義	三浦 夕香		
3	3. 注射法① 1)注射の原則 2)注射法(筋肉内、皮下、皮内)					講義	三浦 夕香		
4	4. 演習① 皮下注射法					演習	三浦 夕香		
5	5. 演習② 筋肉内注射法					演習	三浦 夕香		
6	6. 注射法② 1)静脈内注射(ワンショット) 2)点滴静脈内注射					講義	三浦 夕香		
7	7. 演習③ 点滴静脈注射法					演習	三浦 夕香		
8	8. 輸血法					講義	三浦 夕香		
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☒ その他 (筆記試験、レポート、出席状況) ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。 (100) %									
教科書									
書名					著者	出版社			
新体系 看護学全書 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ						メヂカルフレンド社			
写真でわかる 臨床看護技術アドバンス①						インターメディカ			
参考書									
書名					著者	出版社			
トートラ人体の構造と機能						丸善			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	臨床看護総論								
担当者	長嶺 千寿子								
開講年次	1年	開講期	1年前期, 1年後期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標 (概要)臨床の場における対象のニーズを理解し、対象の健康状態に応じた看護を学ぶ。									
(到達目標)臨床の場における対象のニーズを理解し、対象の健康状態に応じた看護を学ぶ。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)		担当者	
1	1. 臨床看護とは 2. 臨床看護の対象者と臨床看護の場					講義		長嶺 千寿子	
2	3. 経過別に見た対象と看護の特徴					講義		長嶺 千寿子	
3	4. 急性期及び回復期にある患者の特徴と看護					講義		長嶺 千寿子	
4	5. 生命維持日常生活に影響を及ぼす障害と看護 1)意識が障害されるということ					講義		長嶺 千寿子	
5	2)痛みを経験すること					講義		長嶺 千寿子	
6	3)呼吸が障害されるということ					講義		長嶺 千寿子	
7	6. 治療方法とそれを受ける患者の看護 1)安静療法と看護・薬物療法と看護 *アセスメントの統合(きりこさんの事例)					講義、GW		長嶺 千寿子	
8	7. 日常生活援助の実践(きりこさんの事例)					演習		長嶺 千寿子	
9	8. 終末期を経験している患者の看護 1)食事療法と看護 *患者にとっての在宅					講義		長嶺 千寿子	
10~13	9. 看護で援助できること(脳梗塞患者の事例) 1)病院から在宅へ ~退院を見据えた看護~ 2)運動機能が障害されるということ 3)回復期、慢性期の看護 ・疾患、症状、治療法の理解 ・病態関連図作成 ・看護目標立案(ビジョン・ゴール) 4)外来における看護					協同学習		長嶺 千寿子	
14	10. 検査を受ける患者の看護 1)心電図検査を受ける患者					講義		長嶺 千寿子	
15	2)12誘導で心電図を確認					演習		長嶺 千寿子	
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () %									
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名					著者		出版社		
新体系 看護学全書 基礎看護学④ 臨床看護総論							メヂカルフレンド社		
参考書									
書名					著者		出版社		
系統看護学講座 専門基礎 疾病の成り立ちと回復の促進〔1〕病理学							医学書院		
写真でわかる 臨床看護技術①							インターメディカ		
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

専門分野Ⅱ

成人看護学

授業科目名	成人看護学概論								
担当者	伊藤 義則								
開講年次	1年	開講期	1年後期	授業回数	8	時間数	16	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要) 成人看護学の対象である「大人」について、社会において生活を営み人生を歩んでいる生活者として理解する。また、人生を送るうえで起こってくる課題や予測しなかった事態に直面するなかで、おのうに人生の意味を探究するかについて学ぶ。 さらに、成人に特徴的に見られる健康状態や健康問題の代表的な様相を切り口とし、それらに対応した看護の基本的な考え方や方法論について学ぶ。 (到達目標) 成人期にある対象を理解し、健康問題を明確にし、アプローチの方法を学ぶ。 成人期の保健問題を理解し、健康の保持増進及び疾病予防とその重要性を認識する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	「大人」とは何だろう？・その1 イントロダクション					講義	伊藤 義則		
2	「大人」とは何だろう？・その2 次に事例を見てみよう。					講義	伊藤 義則		
3	「大人」とは何だろう？・その3 事例の振り返り					講義	伊藤 義則		
4	成人患者の看護援助に必要な看護技術の方法 急性期・回復期の看護 危機モデル					講義	伊藤 義則		
5	成人患者の看護援助に必要な看護技術の方法 慢性期の看護「痛みの軌跡」モデル					講義	伊藤 義則		
6	成人患者の看護援助に必要な看護技術の方法 慢性期の看護 自己効力理論					講義	伊藤 義則		
7	成人患者の看護援助に必要な看護技術の方法 リハビリテーション期の看護 ICFの考え方					講義	伊藤 義則		
8	成人患者の看護援助に必要な看護技術の方法 緩和ケアを必要とする方への看護					講義	伊藤 義則		
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名					著者	出版社			
系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学〔1〕『成人看護学総論』						医学書院			
ナーシンググラフィカ 成人看護学④ 『セルフマネジメント』						メディカ出版			
参考書									
書名					著者	出版社			
新体系 看護学全書 基礎看護学①『看護学概論』						メヂカルフレンド社			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

専門分野Ⅱ

授業科目名	成人保健								
担 当 者									
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年後期	授 業 回 数	7	時 間 数	14	単 位 数	
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要) 個々人が社会において体験する生活と健康に焦点を合わせ、その人らしくあることができるように看護するための、基本となる考え方や方法論について理解する。 また、現代社章の要請に伴う医療サービスの質保証や医療システムの変革などにおいて、看護が担う新たな役割や責務について学ぶ。 (到 達 目 標) 成人期にある対象を理解し、健康問題を明確にし、アプローチの方法を学ぶ。 成人期の保健問題を理解し、健康の保持増進及び疾病予防とその重要性を認識する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	生活と健康 1) 大人の生活からとらえる健康 2) 清あけ津と健康をまおりはぐくむシステム (1) 保健・医療・福祉のシステムの概要 (2) 保健・医療・福祉のシステムの連携					講義			
2-4	成人への看護アプローチの基本 1) 生活の中で健康行動を生み、はぐくむ援助 2) 健康問題をもつ大人と看護師の人間関係 3) 人々の集団における調和や変化を促す 看護アプローチ 4) チームアプローチ 5) 看護におけるマネジメント 6) 看護実践における倫理的判断 7) 意思決定支援 8) 家族支援					講義			
5	ヘルスプロモーションと看護 1) ヘルスプロモーションと看護 2) ヘルスプロモーションを促進する看護の場と活動					講義			
6	健康をおびやかす要因と看護 1) 健康バランスの構成要素 2) 健康バランスに影響を及ぼす要因 3) 生活行動がもたらす健康問題をその予防					講義			
7	喫煙と健康					講義			
■ 期末試験 (100) % □ 提出物 () % □ 小テスト () % □ 実技試験 () % □ 口頭試問 () % □ 発 表 () % □ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
系統看護学講座 専門Ⅱ成人看護学〔1〕 『成人看護学総論』					医学書院				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
ナーシンググラフィカ成人看護学④『セルフマネジメント』					メディカ出版				
新体系看護学全書 基礎看護学①『看護学概論』					メヂカルフレンド社				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

老年看護学

授業科目名	老年看護学概論								
担当者	西崎 佳子								
開講年次	1年	開講期	1年後期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標 (概要)老年期における対象の身体的・心理的・社会的側面をとらえ、高齢者を総合的に理解する。また、高齢者が健康に生活するための保健・福祉活動および看護の役割とその活動について理解する。 (到達目標)老年期にある対象の身体的、精神的、社会的側面から、高齢者のライフステージと健康課題を理解し、看護の役割を理解する。 高齢者が健康に生活するための保健・医療・風刺活動と看護師の役割を理解する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	老年看護を学ぶ入り口					講義、GW	西崎 佳子		
2	高齢者の身体・心理・社会的特徴 (新聞学習より)					GW	西崎 佳子		
3	高齢者の身体の加齢変化					講義、GW	西崎 佳子		
4	高齢者の心理的・社会的変化					GW	西崎 佳子		
5	超高齢社会の統計的輪郭と社会制度					講義	西崎 佳子		
6	高齢者のヘルスプロモーション					講義	西崎 佳子		
7	高齢者の疑似体験(高齢者像)					GW	西崎 佳子		
8～9	高齢者の疑似体験					演習	西崎 佳子		
10	高齢者疑似体験の振り返り・発表					GW	西崎 佳子		
11	高齢者が生活する場の多様性					講義	西崎 佳子		
12	多職種連携と家族への看護					講義	西崎 佳子		
13	地域包括ケアと外来					講義	西崎 佳子		
14	高齢者の権利擁護					GW	西崎 佳子		
15	老年看護の役割					講義	西崎 佳子		
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者			出版社				
新体系 看護学全書 老年看護学① 老年看護学概論・老年保健									
参考書									
書名		著者			出版社				
『老年看護学概論』					南江堂				
老年看護学①『高齢者の健康と障害』					ナーシンググラフィカ				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

小児看護学

授業科目名	小児看護学概論								
担当者	徳田 奈美								
開講年次	1年	開講期	1年後期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)小児看護学の理念を理解し、教育の基礎となる生活と養護及び適切な援助、小児を取り巻く社会の動向について学ぶ。									
(到達目標)小児看護学の理念を理解し、教育の基礎となる生活と養護及び適切な援助、小児を取りまく社会の動向について学ぶ。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	小児看護とは ・小児看護の対象と目標						徳田 奈美		
2	小児の成長・発達と発達段階に「応じた日常生活援助 ・成長発達の原則と影響因子 ・発達評価 ・小児の生活を支える成長と機能の発達					講義	徳田 奈美		
3	乳児期の子どもの成長・発達と看護					講義	徳田 奈美		
4	幼児期の子どもの成長・発達と看護					講義	徳田 奈美		
5-6	・小児の発達に伴う生活行動の変化と日常生活の支援 ①宇郷(活動) ②眠る(休息) ③食べる(食事・栄養) ④排泄する(排泄) ⑤身だしなみを整える(清潔衣生活) ⑥見る、聞く、話す(コミュニケーション) ⑦感じ、考える(認知) ⑧遊ぶ(活動)					講義	徳田 奈美		
7	学童期の子どもの成長・発達と看護(学ぶ)					GW、講義	徳田 奈美		
8	思春期の子どもの成長・発達と看護					講義	徳田 奈美		
9	子どもの最善の利益にかなう医療・看護・子どもの権利					講義	徳田 奈美		
10	子どもを守る法律と制度 (児童福祉法、母子保健法、児童虐待防止法)					講義	徳田 奈美		
11	小児を取り巻く医療の変遷と課題 ・小児と家族 小児看護における概念と理論					講義	徳田 奈美		
12	保健統計からみた小児と健康問題 予防接種					講義	徳田 奈美		
13	「子どもにとって最も善いこと」事例から考える					講義	徳田 奈美		
14	外来における子どもと家族への影響					講義	徳田 奈美		
15	健康障害や入院が子どもと火増に及ぼす影響					講義	徳田 奈美		
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () %									
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名					著者		出版社		
系統看護学講座 小児看護学概論 小児臨床看護総論							医学書院		
参考書									
書名					著者		出版社		
小児看護学概論 子どもと家族に寄り添う援助							南光堂		
小児看護技術 子どもと家族のチカラを引き出す援助							南光堂		
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

母性看護学

授業科目名	母性看護学概論								
担 当 者	非常勤講師								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年後期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)母性看護の概念を理解し、母性のライフサイクルに合わせたヘルスプロモーションについて学ぶ。さらに対象を取り巻く社会の変遷と現状を理解し、母性看護の役割を学ぶ。わが国の母子保健対策を理解し、実践について考える。									
(到 達 目 標)1. 母性看護の概念を理解し、母性看護の示す機能と役割について知る。 2. 母性に付随する様々な問題を母子保健の立場から整理し、考えを述べることができる。 3. リプロダクティブヘルスの視点から、健康教育の意義について考えを述べることができる。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
	母性看護の主要な概念 1. 母性とは セクシュアリティ リプロダクティブヘルス/ライツ					講義	非常勤講師		
	2. 母性看護の理念・倫理・安全					講義	非常勤講師		
	母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状 1. 母性看護の歴史的変遷と現状					講義	非常勤講師		
	2. 母性看護に関する組織と法律・施策・環境					講義	非常勤講師		
	母性看護の対象理解 1. 女性のライフサイクルにおける形態・機能の変化					講義	非常勤講師		
	2. 女性のライフサイクルと家族					講義	非常勤講師		
	母性看護に必要な看護技術					講義	非常勤講師		
	女性のライフステージ各期における看護 1. 思春期・成熟期の健康と看護					講義	非常勤講師		
	2. 更年期・老年期の健康と看護					講義	非常勤講師		
	リプロダクティブヘルスケア 1. 家族計画・性感染症・HIV・人工妊娠中絶					講義	非常勤講師		
	2. 喫煙・性暴力・児童虐待・国際化社会					講義	非常勤講師		
	3. 模擬集団保健指導 ①テーマ・目的・目標					講義	非常勤講師		
13	②内容・方法・役割分担					GW	非常勤講師		
14～15	③模擬集団保健指導実演					発表会	非常勤講師		
☐ 期末試験（ ）％ ☒ 提出物（ ）％ ☐ 小テスト（ ）％ ☐ 実技試験（ ）％ ☐ 口頭試問（ ）％ ☐ 発 表（ ）％ ☒ その他（筆記試験、出席状況）（100）％ ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名					著 者		出 版 社		
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学①							医学書院		
参 考 書									
書 名					著 者		出 版 社		
厚生指針 増刊 国民衛生の動向							厚生労働統計協会		
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

精神看護学

授業科目名 精神看護学概論									
担 当 者 高橋 忍/ 高良 勝俊/ 大城 幸仁/ 浜本 強									
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年後期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)精神看護の概念を学び、精神の構造及び会社の変化が精神に与える影響を理解する。そして精神の健康問題、我が国の精神医療の歴史・制度について学ぶ。									
(到 達 目 標)									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	精神看護学で学ぶこと					講義	大城 幸仁		
2	精神障がい者と社会、社会的入院					講義	高橋 忍		
3	心の健康と維持					講義	高橋 忍		
4	心の発達と健康①					講義	高橋 忍		
5	心の発達と健康②					講義	高橋 忍		
6	心の発達と健康③					講義	高橋 忍		
7	人間関係の中での心の問題、その対応、環境と心の働き					講義	高橋 忍		
8	精神の危機状況と精神保健①					講義	大城 幸仁		
9	精神の危機状況と精神保健②適応と不適応					講義	大城 幸仁		
10～15	現代社会における精神保健問題 グループワーク ①DV・虐待 ②引きこもり・不登校 ③職場におけるハラスメント・いじめ ④自殺・自傷 ⑤アルコール問題・薬物問題 ⑥ギャンブル依存・IT依存 ⑦犯罪・非行					演習	浜本 強/ 大城 幸仁		
☒ 期末試験 (100) % ☐ 提出物 () % ☒ 小テスト (20) % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☒ 発 表 (80) % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
新体系 看護学全書 精神看護学① 精神看護学概論・精神保健					メヂカルフレンド社				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど） 評価は、非常勤講師（高橋）の期末試験100%、専任教員（高良、大城）と非常勤講師（浜本）の発表＋小テスト100%を、合計し2で割り、平均点で評価いたします。									

統合分野

在宅分看護論

統合分野

授業科目名	在宅看護概論								
担当者	上里 一之/ 平田 寿恵								
開講年次	1年	開講期	1年前期, 1年後期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標 (概要)在宅看護の変遷やその社会背景をはじめ、在宅看護の目的・基本的な理念や概念を学ぶ。在宅看護の対象者やその家族の特性と支援のあり方、ならびにその支援の基盤となる訪問看護制度を学ぶ。さらに地域包括ケアシステムの基本、社会資源について学ぶ。 (到達目標)変化する社会における在宅看護の必要性を理解し、在宅で療養する人の持つ特性やその人を支える社会資源を理解する。また、現代家族の特徴と訪問看護サービスの種類・特徴を学び、持続看護の必要性を理解する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容						方法 (講義・実技・演習)	担当者	
1～3	在宅看護の概念 1)在宅看護とは何か 2)在宅看護をめぐる社会的背景 3)在宅看護の特性 4)在宅看護の役割と機能 5)在宅看護を展開するための基本理念						講義		
4	在宅看護と家族の支援 1)訪問看護の対象と在宅療養の成立要件 2)在宅療養の場における家族捉え方 3)在宅療養者の家族への看護						講義、GW		
5～6	在宅療養を支える訪問看護 1)訪問看護の特徴 2)在宅ケアを支える訪問看護ステーション 3)訪問看護における看護過程 4)家庭訪問の方法と訪問看護記録						講義		
7～9	地域医療を支える制度 1)社会資源の活用 2)医療保険制度・後期高齢者医療制度 3)介護保険制度および高齢者施策 4)生活保護制度 5)障害児者に関する法律 6)難病法 7)在宅療養者の権利を擁護する制度						講義		
10	インクルーシブ社会を目指して(当事者の立場から)						講義		
11～14	地域包括ケアシステムにおける在宅看護 1)地域包括ケアシステムとは 2)療養の場の移行に伴う看護 3)地域における社会資源と多職種連携 4)事例に基づいたケアマネジメント						講義、GW		
15	在宅看護を支える看護師の基本的姿勢						講義		
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () %									
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者			出版社				
ナーシンググラフィカ 在宅看護論①「地域療養を支えるケア」					メディカ出版				
参考書									
書名		著者			出版社				
看護の実践のための根拠がわかる「在宅看護技術」					メヂカルフレンド社				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

シラバス 2021

2 学年

授 業 科 目

基礎分野

基礎分野

授業科目名	論理学								
担当者	赤井 清								
開講年次	2年	開講期	2年前期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)筋道を立てて、物事を考える方法を学ぶ。									
(到達目標)思考の形成を学び、倫理的思考及び表現方法を学ぶ。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容	方法 (講義・実技・演習)	担当者						
1	第1章 議論を識別する	講義	赤井 清						
2	第2章 議論を分析する	講義	赤井 清						
3	第3章 演繹的な議論を評価する	講義	赤井 清						
4	第4章 妥当な議論の形式 第1節 議論の形式	講義	赤井 清						
5	第2節 妥当な議論の形式	講義	赤井 清						
6	第3節 非妥当な議論の形式 第4節 複雑な議論の妥当性を示す	講義	赤井 清						
7	第5節 条文 第6節 同値形式	講義	赤井 清						
8	第7節 同値規則を利用する 個人情報保護に関する議論	講義	赤井 清						
9	第5章 実際の議論を分析してみよう	講義	赤井 清						
10	第6章 非演繹的な議論	講義	赤井 清						
11	第7章 議論の進行パターンにあわせた評価	講義	赤井 清						
12	第8章 特殊な話題 第1節因果的な議論	講義	赤井 清						
13	第2節論理的な議論	講義	赤井 清						
14	生命倫理	グループワーク	赤井 清						
15	筆記試験 まとめ	講義	赤井 清						
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ; ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ■その他 (試験、出席等を総合評価) (100) % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者		出版社					
「正しく」考える方法				晃洋書房					
参考書									
書名		著者		出版社					
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									
よく理解できない用語は、授業中に質問して下さい。									

基礎分野

授業科目名	教育学								
担当者	背戸 博史								
開講年次	2年	開講期	2年前期	授業回数	15	時間数	30	単位数	2
授業の概要・到達目標									
(概要)教育の原理を学び、人間形成における教育機能を理解する。また、指導技術の基礎を学ぶ。									
(到達目標)人間形成の原理や方法を時間軸と文化軸の双方から考察することで科学的思考の基盤を形成するとともに、グループ単位で模擬授業を計画・実施することで教育技術の獲得および他社理解の視点を確立し、看護実践における基礎的力量的形成をなす。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	オリエンテーション					講義	背戸 博史		
2	教育の構造(広義の教育/狭義の教育)					講義	背戸 博史		
3	子ども観の社会史					講義	背戸 博史		
4	人間形成の過程①ー広義の教育					講義	背戸 博史		
5	人間形成の過程②ー広義の教育					講義	背戸 博史		
6	人間形成の過程③ー狭義の教育					講義	背戸 博史		
7	人間形成の過程④ー狭義の教育					講義	背戸 博史		
8	授業論①(教育方法)					講義	背戸 博史		
9	授業論②(指導案の実践)					講義	背戸 博史		
10	模擬授業準備①(テーマの確定)					演習	背戸 博史		
11	模擬授業準備②(指導案作成)					演習	背戸 博史		
12	模擬授業準備③(指導案作成)					演習	背戸 博史		
13	模擬授業準備④(資料作成)					演習	背戸 博史		
14	模擬授業発表					実演	背戸 博史		
15	模擬授業発表および振り返り					実演	背戸 博史		
☐ 期末試験()% ☐ 提出物()% ☐ 小テスト()% ☐ 実技試験()% ☐ 口頭試問()% ☐ 発表()% ☐ その他() ()% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名			著者			出版社			
参考書									
書名			著者			出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

基礎分野

授業科目名	芸術								
担 当 者	本庄 正巳								
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年前期	授 業 回 数	10	時 間 数	20	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)美術のもつ効果を学ぶとともに、教育支援資料の効果を学ぶ。また、演習を通してその方法を習得する。									
(到 達 目 標)美術のもつ効果を学ぶことは自分自身の人生を彩り豊かなものとする。さらに、教育支援に活用する資料の作成に関する技術(方法)を習得することは、そのひとに合った看護を提供することに繋がる。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	【看護と芸術(アートと感性)】 ・アートと感性について(映像講義)ドキュメント映像を使い感性について考える。 映画を鑑賞してレポート提出(自分自身が感じたこと)					講義	本庄 正巳		
2	【右【右脳活性化の描き】 ・右脳で絵を描く:感情やひらめきの右脳を活性化させることで完成豊かに想像力も養う。 ・鉛筆Bまたはシャープペンシル(ボールペンは不可)・消しゴム					講義・実技	本庄 正巳		
3	【ティッシュアート】 ・ティッシュアートにチャレンジ 色も模様も自由自在。自分らしい表現を見つける。 ・カラーペンシル(水性)※油性不可・スティックのり・A4クリアファイルブック					講義・実技	本庄 正巳		
4	【切り【切り紙】 ・切り絵・切り紙の表現:自分らしく夢中に切り出すことで集中して自己の表現を見つける。 ・色紙や包装など使用したい紙・ハサミ(中・小)・カッターナイフ・カッティング台 ・スティックのり					講義・実技	本庄 正巳		
5	【コラージュアート】 ・「言葉ではない想い」を映し出す。 イメージの世界を写真やコラージュで表現する。 ・心の中の感覚思考を見つめながら作品を完成させる。 ・使用したい雑誌や紙を集める(できるだけ多種がよい)・ハサミ(中・小)・ステックのり ・クレヨン・カラーペン・その他					講義・実技	本庄 正巳		
6	【紙ヒコーキ飛ばし】 ・童心になり創作する。 創作紙ヒコーキ、ヘリコプター、飛行リング					講義・実技	本庄 正巳		
7~9	【紙粘土造形(元気の塔1)】 ・自分なりの元気を表現する。独創性を楽しむ。自分が元気の出る作品作りをする。 【紙粘土造形(元気の塔2)】 ・心躍るエネルギーで楽しむことを目指す。 ※紙粘土3~4個使用します。・瓶やペットボトル(心棒にするもの) ・水彩絵の具・筆・カラーペン・その他貼り付けたいもの ・木工用生ボンド(小) 【紙粘土造形(元気の塔3)】 完成する喜びを味わう、分かち合う。					講義・実技	本庄 正巳		
10	【看護の質を高める学びとは】 ・作品発表と鑑賞、芸術の授業と看護についての感想レポート					講義	本庄 正巳		
☐ 期末試験 () % ☒ 提出物 (90) % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☒ 発 表 (10) % ☐ その他 () () %									
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名			著 者			出 版 社			
参 考 書									
書 名			著 者			出 版 社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									
○素直な感情を楽しみましょう! 他者の感情に惑わされず自分自身の表現を大切にしましょう。 ○自分らしさを楽しみましょう! 過去に身についた概念ではなく「自主的」に生きるには、まず自分を「認識」することが必要となります。 ○多くの「気づき」を楽しみましょう! 物事の本質をつかむ洞察力を高める自己成長につながります。 ○アートは生きる力となります。									

基礎分野

[illegible]

基礎分野

授業科目名	英語Ⅱ								
担当者	城間 欣子								
開講年次	2年	開講期	2年前期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)看護英語の知識を高め、医療分野における総合的英語力を身につけ、実践的場面で活用する。									
(到達目標)看護をしていくうえで、医療分野における総合的英語力を身につけることは必修である。臨地実習をはじめ就職後も、文献の解説、カルテ内容の理解、患者とのコミュニケーションなど必要度は増してくる。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	総合案内 何科を受診なさいますか？					講義	城間 欣子		
2	受付 この用紙にご記入ください。					講義	城間 欣子		
3	健康保険証はお持ちですか？					講義	城間 欣子		
4	現病歴 どうなさいましたか？					講義	城間 欣子		
5	どのような症状ですか？					講義	城間 欣子		
6	いつからその症状はありますか？					講義	城間 欣子		
7	健康歴 今までに大きな病気をされましたか？					講義	城間 欣子		
8	診察室～検査 足(脚)を見せてください					講義	城間 欣子		
9	検尿をお願いします					講義	城間 欣子		
10	X線検査室はどこですか？					講義	城間 欣子		
11	手続き・会計 次回受診日のご希望はありますか？					講義	城間 欣子		
12	診療費は1日3200円です					講義	城間 欣子		
13	薬 1日1カプセル、1日3回、食後にお飲みください					講義	城間 欣子		
14	副作用はありますか？					講義	城間 欣子		
15	一般教養 佐々木先生にお会いしたいのですが、行き先を教えてくださいませんか					講義	城間 欣子		
☒ 期末試験 (80) % ☐ 提出物 () % ☒ 小テスト (20) % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名			著者			出版社			
現場ですぐに役立つ！実践メディカル英会話						メディカ出版			
参考書									
書名			著者			出版社			
クリスティーンのやさしい看護英語									
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									
①日本人が不得意とする母音・子音の発音練習を強化します。 ②現在病院で活用している外来問診票を参考にして実践に役立つ英会話の向上を目指します。 ③英語が食わず嫌いにならずに興味を持つように努力します。									

專門基礎分野

専門基礎分野

授業科目名	栄養学Ⅱ								
担 当 者	金城 典子								
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年前期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)疾患別の食事療法について学習する。									
(到 達 目 標)疾患を持つ患者の食事療法について理解を深め実際に調理して食する事は、患者に合った食生活支援に繋がる。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	疾病時の栄養法・疾患とライフサイクル					講義	金城 典子		
2	循環器系疾患と食					講義	金城 典子		
3	糖尿病と食					講義	金城 典子		
4	肥満と食					講義	金城 典子		
5	脂質異常症・先天性代謝異常・痛風・呼吸器疾患・癌と食					講義	金城 典子		
6	腎疾患と食					講義	金城 典子		
7	消化器系疾患と食					講義	金城 典子		
8	肝疾患・膵炎・胆石症と食					講義	金城 典子		
9	老年期の疾患と食					講義	金城 典子		
10	妊婦の疾患と食					講義	金城 典子		
11~12	腎疾患患者の食事					調理実習	金城 典子		
13~14	糖尿病疾患の食事					調理実習	金城 典子		
15	在宅患者の栄養支援・栄養アセスメントとNST					講義	金城 典子		
☒ 期末試験（100）％ ☐ 提出物（ ）％ ☐ 小テスト（ ）％ ☐ 口頭試問（ ）％ ☐ 発 表（ ）％ ☐ その他（ ）（ ）％									
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名			著 者			出 版 社			
看護栄養学 第3版						医歯薬出版株式会社			
参 考 書									
書 名			著 者			出 版 社			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									
メディア等における食事療法の情報を鵜呑みにせず、医療分野の変化や研究に対応して改訂される各疾患別の学会によるガイドライン(食事療法の項)を確認し、疑問等があれば質問をする									

授業科目名	疾病と治療Ⅰ／呼吸器疾患								
担当者	金城 武士/ 古堅 誠/ 新垣 若子/ 仲村 秀太								
開講年次	2年	開講期	2年前期	授業回数	6	時間数	12	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)呼吸器の形態と機能及び病態をふまえ、主な疾患の病態、症状、検査、診断、治療について理解する。									
(到達目標)呼吸器疾患、循環器疾患の病態、診断の視点を把握し、回復過程及び治療方法を学ぶ。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	感染症の病態、症状、検査、診断、治療 ①肺炎 検査：血液ガスの分析					講義	仲村 秀太		
2	②肺結核 検査：喀痰、胸水検査					講義	新垣 若子		
3	気道疾患の病態、症状、検査、診断、治療 ①気管支喘息 ②気管支拡張症 検査：呼吸機能検査					講義	金城 武士		
4	③慢性閉塞性疾患 ④肺血栓塞栓症					講義	金城 武士		
5	肺腫瘍の病態、症状、検査、診断、治療 検査：気管支鏡検査					講義	古堅 誠		
6	胸膜・縦隔・横隔膜疾患の 病態、症状、検査、診断、治療					講義	新垣 若子		
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名			著者			出版社			
系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学〔2〕呼吸器						医学書院			
参考書									
書名			著者			出版社			
薬理学、フィジカルアセスメント、臨床検査、臨床放射線医学						医学書院			
看護形態機能学、ナースングラフィカE X周手術期看護						日本看護協会出版会、メディカ出版			
トータル人体の構造と機能、看護過程に沿った対症看護						丸善株式会社、学研			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	疾病と治療Ⅰ／循環器疾患								
担当者	奥村 耕一郎								
開講年次	2年	開講期	2年前期	授業回数	6	時間数	12	単位数	
授業の概要・到達目標									
(概要)循環器の形態と機能及び病態をふまえ、主な疾患の病態、病態、症状、検査、診断、治療について理解する。									
(到達目標)循環器の形態と機能及び病態をふまえ、主な疾患の病態、症状、検査、診断、治療について理解する事は、循環器疾患を持つ患者理解に繋がり、患者に合った看護を提供できる。形態機能学などの既習科目については理解しているものとして授業を進めていくので、十分に復習し、内容に合わせて予習をすると理解は深まる。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	疾患の理解 虚血性心疾患 狭心症 心筋梗塞						奥村 耕一郎		
2	疾患の理解 心不全 血圧異常						奥村 耕一郎		
3	疾患の理解 不整脈 弁膜症						奥村 耕一郎		
4	疾患の理解 心膜炎 心筋疾患						奥村 耕一郎		
5	疾患の理解 肺性心 先天性心疾患						奥村 耕一郎		
6	疾患の理解 動・静脈系疾患 リンパ系疾患						奥村 耕一郎		
☒ 期末試験（100）％ ☐ 提出物（ ）％ ☐ 小テスト（ ）％ ☐ 実技試験（ ）％ ☐ 口頭試問（ ）％ ☐ 発表（ ）％ ☐ その他（ ）（ ）％ ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者			出版社				
系統看護学講座専門Ⅱ成人看護学[3]循環器					医学書院				
参考書									
書名		著者			出版社				
トートラ人体の構造と機能					丸善株式会社				
看護形態機能学					日本看護協会出版会				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	疾病と治療Ⅰ／臨床外科疾患								
担 当 者	我部 敦/ 大城 淳/ 平沼 進								
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年前期	授 業 回 数	4	時 間 数	8	単 位 数	
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)各臓器の形態機能及び病態をふまえ、主な疾患の手術について理解する。									
(到 達 目 標)呼吸器疾患、循環器疾患の病態、診断の視点を把握し、回復過程及び治療方法を学ぶ。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	消化器疾患 ①食堂の疾患 ②胃の疾患 ③肝臓の疾患 ④脾臓の疾患					講義	大城 淳		
2	腸の疾患 ⑤イレウス ⑥急性腹症					講義	大城 淳		
3	呼吸器疾患 ①肺がん ②気胸					講義	我部 敦		
4	循環器疾患 ①弁置換術 ②冠状動脈バイパス術 血管の疾患 ①動脈の血流障害及び閉塞 ②静脈の閉塞					講義	平沼 進		
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ■その他 (筆記試験、提出物、出席状況) (100) % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
系統看護学講座	臨床外科看護総論 別巻				医学書院				
系統看護学講座	臨床外科看護各論 別巻				医学書院				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
トートラ人体の構造と機能、看護形態機能学、看護過程に沿った対症看護					丸善、日本看護協会出版会、学研				
薬理学、フィジカルアセスメント、臨床検査、臨床放射線医学					医学書院				
ナースのためのくすりの辞典、ナースング・グラフィカ周手術期看護					へるす出版、学研、メディカ出版				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名 疾病と治療Ⅱ／消化器疾患									
担 当 者 伊志嶺 真達									
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年前期	授 業 回 数	6	時 間 数	12	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)消化器の形態と機能をふまえ、各疾患の病態、症状、検査、診断、治療について学習する。									
(到 達 目 標)消化器疾患、内分泌疾患などの病態、診断の視点を把握し、回復過程及び治療方法を学ぶ。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	食道疾患の病態、症状、検査、治療 ①食道癌 ②胃食道逆流症					講義	伊志嶺 真達		
2	胃、十二指腸疾患の病態、症状、検査、治療 ①胃・十二指腸潰瘍 ②結腸がん ③消化管憩室 ④イレウス(腸閉塞)					講義	伊志嶺 真達		
3	肝臓疾患の病態、症状、検査、治療 ①ウイルス性肝炎 ②肝硬変症 ③肝細胞がん					講義	伊志嶺 真達		
4	胆嚢、膵臓疾患の病態、症状、検査、治療 ④胆石症 ⑤胆管がん ⑥急性膵炎 ⑦膵臓がん					講義	伊志嶺 真達		
5	内視鏡的検査と治療 ①ERCP ②EST ③PTCD ④ステント					講義	伊志嶺 真達		
6	⑤TAE ⑥PEIT					講義	伊志嶺 真達		
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☒ その他 (筆記試験) (100) % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名			著 者			出 版 社			
系統看護学講座 専門Ⅱ 消化器 成人看護学5						医学書院			
参 考 書									
書 名			著 者			出 版 社			
トータル人体の構造と機能、看護形態機能学、ナースのためのくすりの辞典						丸善、日本看護協会出版会、へるす出版			
薬理学、フィジカルアセスメント、臨床検査、臨床放射線医学						医学書院			
看護過程に沿った対症看護、ナーシング・グラフィカEX周手術期看護						学研、メディカ出版			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	疾病と治療Ⅱ／栄養・代謝・内分泌疾患								
担当者	崎原 みち代								
開講年次	2年	開講期	2年前期	授業回数	4	時間数	8	単位数	
授業の概要・到達目標									
(概要)内分泌、代謝系の形態と機能をふまえ、各疾患の病態、症状、検査、診断、治療について学習する。									
(到達目標)消化器疾患、内分泌疾患などの病態、診断の視点を把握し、回復過程及び治療方法を学ぶ。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容						方法 (講義・実技・演習)	担当者	
1	内分泌疾患 ①視床下部一下垂体前葉系疾患 ②甲状腺疾患						講義	崎原 みち代	
2	③甲状腺腫瘍						講義	崎原 みち代	
3	代謝疾患 ①糖尿病						講義	崎原 みち代	
4	②脂質異常症 ③高尿酸血症						講義	崎原 みち代	
☒ 期末試験（100）％ ☐ 提出物（ ）％ ☐ 小テスト（ ）％ ☐ 実技試験（ ）％ ☐ 口頭試問（ ）％ ☐ 発表（ ）％ ☐ その他（ ）（ ）％ ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名				著者		出版社			
系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学〔6〕 内分泌・代謝						医学書院			
参考書									
書名				著者		出版社			
看護形態機能学 生化学 トータル人体の構造と機能 薬理学 微生物学 病理学									
臨床検査 臨床放射線医学 ナーシング・グラフィカ E X 周手術期看護									
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	疾病と治療Ⅱ／腎泌尿器疾患								
担 当 者	座間味 亮/ 山里 正演/ 石田 明夫/ 仲西 昌太郎								
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年前期	授 業 回 数	5	時 間 数	10	単 位 数	
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)腎泌尿器の形態と機能をふまえ、各疾患の病態、症状、検査、診断、治療について学習する。									
(到 達 目 標)消化器疾患、内分泌疾患などの病態、診断の視点を把握し、回復過程及び治療方法を学ぶ。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	腎疾患の主な検査・治療					講義	石田 明夫		
2	腎疾患の病態、症状、検査、診断、治療 ①急性腎不全 ②慢性腎不全 ③慢性腎臓病					講義	山里 正演		
3	④全身性疾患による腎障害					講義	座間味 亮		
4	泌尿器疾患の病態、症状、検査、診断、治療 ①尿路の通過障害と機能障害					講義	仲西 昌太郎		
5	泌尿器疾患の主な検査・治療					講義	仲西 昌太郎		
■期末試験（100）％ □提出物（ ）％ □小テスト（ ）％ □実技試験（ ）％ □口頭試問（ ）％ □発 表（ ）％ □その他（ ）（ ）％ ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名					著 者		出 版 社		
系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学〔8〕 腎・泌尿器							医学書院		
参 考 書									
書 名					著 者		出 版 社		
看護形態機能学 生化学 トータル人体の構造と機能 薬理学 微生物学 病理学									
ナースのためのくすりの辞典 看護過程に沿った対応看護 フィジカルアセスメントガイドブック									
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	疾病と治療Ⅲ／脳神経疾患								
担当者	上原 英且／ 城本 高志								
開講年次	2年	開講期	2年後期	授業回数	5	時間数	10	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)脳神経系の形態と機能をふまえ、各疾患の病態、症状、検査、診断、治療について学習する。									
(到達目標)脳神経疾患・運動器疾患・女性生殖器疾患の病態、診断の視点を把握し、回復過程及び治療方法を学ぶ。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容						方法 (講義・実技・演習)	担当者	
1	1)脳血管障害(CVD) ①クモ膜下出血(SAH) ②脳出血(ICH)						講義	城本 高志	
2	③脳梗塞 ④一過性脳虚血発作(TIA)						講義	城本 高志	
3	2)脊髄疾患 3)末梢神経障害						講義	城本 高志	
4	4)筋疾患・神経筋接合部疾患 ①筋ジストロフィー(MD) 5)脱髄・変性疾患 ①多発性硬化症(MS)						講義	城本 高志	
5	6)てんかん 7)認知症						講義	上原 英且	
☒ 期末試験 (100) % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ; ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名				著者			出版社		
系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学〔7〕脳・神経							医学書院		
参考書									
書名				著者			出版社		
看護形態機能学 生化学 トータル人体の構造と機能 薬理学 微生物学 病理学									
ナースのためのくすりの辞典 看護過程に沿った対応看護 フィジカルアセスメントガイドブック									
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	疾病と治療Ⅲ／運動器疾患								
担当者	喜屋武 諒子/ 宮里 剛成/ 古堅 隆司/ 新垣 寛/ 仲間 靖/ 非常勤講師/ 野原 博和								
開講年次	2年	開講期	2年後期	授業回数	6	時間数	12	単位数	
授業の概要・到達目標									
(概要)運動器系の形態と機能をふまえ、各疾患の病態、症状、検査、診断、治療について学習する。									
(到達目標)脳神経疾患・運動器疾患・女性生殖器疾患の病態、診断の視点を把握し、回復過程及び治療方法を学ぶ。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	診断・検査と治療・処置					講義	新垣 寛		
2	外傷性の運動器疾患 1)骨折 2)脱臼					講義	非常勤講師		
3	外傷性の運動器疾患 1)捻挫および打撲 2)神経の損傷 3)筋・腱・靱帯などの損傷					講義	喜屋武 諒子		
4	非外傷性の運動器疾患 1)先天性疾患 2)骨・関節の炎症性疾患 3)骨腫瘍および軟部腫瘍					講義	非常勤講師		
5	非外傷性の運動器疾患 1)代謝性骨疾患 2)筋及び腱の疾患 3)神経の疾患					講義	非常勤講師		
6	非外傷性の運動器疾患 1)上肢および下肢帯の疾患 2)脊髄の疾患 3)上肢および下肢帯の疾患 4)運動器不安定症					講義	非常勤講師		
☒ 期末試験（100）％ ☐ 提出物（ ）％ ☐ 小テスト（ ）％ ☐ 口頭試問（ ）％ ☐ 発表（ ）％ ☐ その他（ ）（ ）％									
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者			出版社				
系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学【10】運動器					医学書院				
参考書									
書名		著者			出版社				
看護形態機能学 生化学 トータル人体の構造と機能 薬理学 微生物学 病理学									
ナースのためのくすりの辞典 看護過程に沿った対応看護 フィジカルアセスメントガイドブック									
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	疾病と治療Ⅲ／女性生殖器疾患								
担当者	大石 杉子/ 仲村 理恵/ 仲本 朋子/ 野村 寛徳								
開講年次	2年	開講期	2年後期	授業回数	4	時間数	8	単位数	
授業の概要・到達目標									
(概要)女性生殖器疾患の形態と機能をふまえ、各疾患の病態、症状、検査、診断、治療について学習する。									
(到達目標)脳神経疾患・運動器疾患・女性生殖器疾患の病態、診断の視点を把握し、回復過程及び治療方法を学ぶ。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	子宮の疾患の症状、検査、診断、治療 ①子宮新種 ②子宮内膜症 ③絨毛性疾患					講義	仲村 理恵		
2	子宮の疾患の症状、検査、診断、治療 ③子宮がん 卵巣の疾患の症状、検査、診断、治療 ①卵巣がん					講義	仲本 朋子		
3	機能的疾患の症状、検査、診断、治療 ①月経異常・月経随伴症状 ②更年期障害 ③不妊症					講義	大石 杉子		
4	乳房疾患の症状、検査、診断、治療 ①乳腺症 ②乳がん					講義	野村 寛徳		
☒ 期末試験 (100) % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者			出版社				
系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学〔9〕女性生殖器					医学書院				
参考書									
書名		著者			出版社				
看護形態概論 生化学 トータル人体の構造と機能 薬理学 微生物学 病理学									
ケースのためのくすりの開発 看護過程に沿った対応看護 フィジカルアセスメントガイドブック									
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	疾病と治療Ⅳ感覚器疾患								
担当者	宮平 誠司/ 金城 賢弥/ 高橋 智佐子								
開講年次	2年	開講期	2年後期	授業回数	6	時間数	12	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)皮膚、耳鼻咽喉、眼の形態と機能をふまえ、各疾患の病態、症状、検査、診断、治療について学習する。									
(到達目標)血液・造血器疾患、感覚器疾患等の病態、診断の視点を把握し、回復過程及び治療方法を学ぶ。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	皮膚疾患 ①表在性皮膚疾患 ②熱傷					講義	高橋 智佐子		
2	③皮膚腫瘍および色素異常 ④感染症					講義	高橋 智佐子		
3	耳鼻咽喉科疾患 ①耳疾患					講義	金城 賢弥		
4	②鼻・咽喉頭疾患					講義	金城 賢弥		
5	眼科疾患 ①結膜・角膜・眼底の疾患					講義	宮平 誠司		
6	②緑内障					講義	宮平 誠司		
☒ 期末試験（100）％ ☐ 提出物（ ）％ ☐ 小テスト（ ）％ ☐ 実技試験（ ）％ ☐ 口頭試問（ ）％ ☐ 発表（ ）％ ☐ その他（ ）（ ）％ ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名					著者	出版社			
系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学〔12〕皮膚、〔13〕眼						医学書院			
系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学〔14〕耳鼻咽喉						医学書院			
参考書									
書名					著者	出版社			
看護形態機能学 生化学 トータル人体の構造と機能 薬理学 微生物学 病理学									
ナースのためのくすりの辞典 看護過程に沿った対応看護 フィジカルアセスメントガイドブック									
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名 疾病と治療Ⅳ／血液・造血器疾患							
担 当 者 玉城 啓太/ 中島 知/ 北村 紗希子/ 友利 昌平							
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年後期	授 業 回 数	4	時 間 数	8
単 位 数							
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要)血液・造血器の形態と機能をふまえ、各疾患の病態、症状、検査、診断、治療について学習する。							
(到 達 目 標)血液・造血器疾患、感覚器疾患等の病態、診断の視点を把握し、回復過程及び治療方法を学ぶ。							
履修における注意事項（受講ルールなど）							
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者
1	おもな検査・診断 赤血球系の異常 ①鉄欠乏性貧血 ②巨赤芽球性貧血 ③再生不良性貧血 ④溶血性貧血					講義	玉城 啓太
2	白血球系の異常 ①無顆粒球症 ②伝染性単核球症 出血性疾患 ①血管異常による出血性疾患 ②血小板異常による出血性疾患 ③凝固異常による出血性疾患 ④播種性血管内凝固症候群					講義	友利 昌平
3	造血器腫瘍 ①造血器腫瘍の分類 ②造血器腫瘍治療の基本理念 ③急性白血病 ④慢性骨髄性白血病 ⑤骨髄異形成症候群					講義	北村 紗希子
4	造血器腫瘍 ⑥成人T細胞白血病 ⑦悪性リンパ腫 ⑧骨髄腫 ⑨血球貧食症候群 HIV感染症と日和見感染症					講義	中島 知
■期末試験（100）％ □提出物（ ）％ □小テスト（ ）％ □実技試験（ ）％ □口頭試問（ ）％ □発 表（ ）％ □その他（ ）（ ）％ ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社			
系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学〔4〕血液・造血器				医学書院			
系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学〔11〕アレルギー・膠原病 感染症				医学書院			
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社			
看護形態機能学 生化学 トータル人体の構造と機能 薬理学 微生物学 病理学							
ナースのためのくすりの辞典 看護過程に沿った対症看護							
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）							

授業科目名						疾病と治療Ⅳ／放射線・麻酔・検査													
担当者						新里 仁哲 / 大見謝 克夫													
開講年次		2年		開講期		2年後期		授業回数		5		時間数		10		単位数			
授業の概要・到達目標																			
(概要)検査および治療の手段としての放射線・麻酔について学び、疾患全般にわたって共通する検査・治療の基本的知識を学習する。																			
(到達目標)血液・造血管疾患、感覚器疾患等の病態、診断の視点を把握し、回復過程及び治療方法を学ぶ。																			
履修における注意事項(受講ルールなど)																			
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。																			
回数		講義内容										方法 (講義・実技・演習)		担当者					
1		放射線による検査・治療										講義		新里 仁哲					
2		放射線による検査・治療										講義		新里 仁哲					
3		麻酔法① 術前・術中・術後の管理										講義		大見謝 克夫					
4		麻酔法② 全身麻酔、局所麻酔1										講義		大見謝 克夫					
5		麻酔法③ 全身麻酔、局所麻酔2										講義		大見謝 克夫					
■ 期末試験 (100) % □ 提出物 () % □ 小テスト () % □ 実技試験 () % □ 口頭試問 () % □ 発表 () % □ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。																			
教科書																			
書名						著者						出版社							
系統看護学講座 臨床放射線医学 別巻												医学書院							
系統看護学講座 臨床外科看護総論 別巻												医学書院							
参考書																			
書名						著者						出版社							
看護形態機能学 生化学 トータル人体の構造と機能 薬理学、微生物学、病理学																			
ナースのためのくすりの辞典 看護過程に沿った対症看護 フィジカルアセスメントガイドブック																			
臨床検査																			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)																			

授業科目名 薬理学Ⅱ									
担 当 者 笠原 大吾									
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年前期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)薬剤の特徴、作用機序、各系統別疾患の治療における人体への影響及び薬物の取り扱いと管理について学ぶ。									
(到 達 目 標)疾病をも患者は何らかの薬剤を使用している。薬剤の特徴、作用機序、各系統別疾患の治療における人体への影響及び薬物の取り扱いと管理について学ぶ事は患者の回復を助けると共に安全を守ることへと繋がる。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1～2	1. 中枢神経治療薬 (全身麻酔薬、向精神薬、パーキンソン治療薬、抗てんかん薬、認知症治療薬、オピオイド鎮痛薬)						笠原 大吾		
3	2. 末梢神経治療薬(自室神経作用薬、筋弛緩薬、局所麻酔薬)感覚器疾患治療薬(めまい、緑内障、皮膚疾患)						笠原 大吾		
4	3. 消炎薬(NSAID、抗アレルギー薬、副腎皮質ステロイド) 自己免疫疾患治療薬(関節リウマチ、SLE)						笠原 大吾		
5～6	4. 循環器疾患治療薬(強心薬、狭心症治療薬、不整脈治療薬、降圧薬、脂質異常治療薬、) 異常症治療薬、利尿薬) 血液・造血器障害治療薬 腎臓・泌尿器疾患治療薬(前立腺肥大)						笠原 大吾		
7	5. 消化器疾患治療薬(制吐薬、健胃消化薬、消化性潰瘍治療薬、鎮痙薬、止痢薬、下剤、)						笠原 大吾		
8	6. 呼吸器疾患治療薬(鎮咳去痰薬、気管支喘息治療薬、COPD)						笠原 大吾		
9～11	7. 内分泌・代謝疾患治療薬(糖尿病治療薬、甲状腺疾患、脳下垂体ホルモン、生殖器作用薬)						笠原 大吾		
12	8. 救急救命時に使用する薬						笠原 大吾		
13	9. サプリメント・ビタミン・輸液・漢方薬など						笠原 大吾		
14	10. まとめ						笠原 大吾		
15	15. 試験・まとめ(解説)						笠原 大吾		
☒ 期末試験 (75) % ☒ 提出物 (25) % ☐ 小テスト () % ; ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
ナーシンググラフィカ 疾病のなりたち② 臨床薬理学					MAメディカ出版				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
ナースのためのくすりの辞典					へるす出版				
イメージできる臨床薬理学					メディカ出版				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

基礎専門分野

授業科目名	公衆衛生学								
担当者	新城 正紀								
開講年次	2年	開講期	2年前期, 2年後期	授業回数	15	時間数	30	単位数	2
授業の概要・到達目標									
(概要)社会環境の変化と生活者の健康問題との関係について理解を深め、疾病予防と健康の保持増進についての知識や方法論を学習する。									
(到達目標)看護の対象である患者は、社会の中で生活している。生活者としての患者の健康問題に対しての支援、予防と健康の保持増進の為に支援をして力をつける。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	公衆衛生学序論					講義	新城 正紀		
2	保健統計(健康指標、人口統計)					講義	新城 正紀		
3	疫学					講義	新城 正紀		
4	疾病予防と健康管理					講義	新城 正紀		
5	主な疾病の予防1(感染症、循環器疾患)					講義	新城 正紀		
6	主な疾病の予防2(がん、アレルギー疾患、不慮な事故)					講義	新城 正紀		
7	環境保健1(人間と環境、環境の把握とその評価)					講義	新城 正紀		
8	環境保健2(物理的・化学的・生物的環境要因)					講義	新城 正紀		
9	地域保健					講義	新城 正紀		
10	母子保健					講義	新城 正紀		
11	学校保健					講義	新城 正紀		
12	産業保健					講義	新城 正紀		
13	老人保健・福祉					講義	新城 正紀		
14	精神保健					講義	新城 正紀		
15	国際保健医療					講義	新城 正紀		
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ; ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ■その他 (筆記試験、提出物、出席状況) (100) % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名			著者			出版社			
シンプル公衆衛生学			鈴木庄亮、久道茂監修			南江堂			
参考書									
書名			著者			出版社			
国民衛生の動向						厚生統計協会			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

専門分野Ⅱ

成人看護学

授業科目名	周手術期看護								
担当者	嘉陽 宗司								
開講年次	2年	開講期	2年前期	授業回数	0	時間数	0	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)外科的治療を受ける患者の身体的・心理的・社会的問題について理解し、手術療法の基礎的地域と、回復過程に沿った看護について学ぶ。									
(到達目標)・周手術期にある成人の特徴を理解し、各時期・各段階に応じて生命の維持・管理のための看護を実践するために必要な知識と技術を習得する。 ・声明を脅かす病気に直面している患者とその家族に対して、苦痛を和らげその人らしい毎日を支えるための緩和ケアの基本的な知識と技術を習得する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	1)手術を受ける患者の状況 2)チーム医療と看護師の役割 3)インフォームドコンセント 4)種手術期における安全管理					講義	嘉陽 宗司		
2	5)手術前患者の看護 ①「外来」における看護 ②日帰り手術を受ける患者の看護					講義	嘉陽 宗司		
3	6)手術中患者の看護 ①手術室の環境管理 ②入室～退室までの看護師の役割					講義	嘉陽 宗司		
4	7)手術後患者の看護 ①手術後の回復を促進するための看護 ②術後合併症予防					講義	嘉陽 宗司		
5	8)手術後患者の看護 ①創傷治癒の看護 ②自己管理に向けた看護					講義	嘉陽 宗司		
6	手術療法を受ける患者の看護①(手術前)					演習	嘉陽 宗司		
7	手術療法を受けた患者の看護②(手術直後)					演習	嘉陽 宗司		
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ■ その他 (筆記試験、提出物、出席状況) (100) % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者			出版社				
系統看護学講座 臨床外科看護総論 別巻					医学書院				
参考書									
書名		著者			出版社				
成人看護学 周手術期看護、写真でわかる臨床看護技術1、2					メディカ出版、インターメディカ				
系統看護学講座 別巻 臨床外科各論、フィジカルアセスメントガイドブック					医学書院				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	緩和ケア								
担 当 者	金城 恵/ 高岡 佐弥香/ 非常勤講師								
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年前期	授 業 回 数	4	時 間 数	8	単 位 数	
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要) 生命を脅かす病気に直面している患者とその家族に対して、治療の初期段階から患者の苦痛を和らげ、その人らしい毎日を送ることを支えるための基本的緩和ケアを学ぶ。									
(到 達 目 標) ・周手術期にある成人の特徴を理解し、各時期・各段階に応じて生命の維持・管理のための看護を実践するために必要な知識と技術を修得する。 ・生命を脅かす病気に直面している患者とその家族に対して、苦痛を和らげその人らしい毎日を支えるための緩和ケアの基本的な知識と技術を修得する。 ・血液、造血器の機能上の障害をもつ対象が抱える問題を知り、解決するための知識と技術を修得する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	1. 緩和ケア概論 1) 患者が抱える全人的苦痛とQOL 2) 死の受容過程とアセスメントと援助 3) 緩和ケアとは何か 4) 緩和ケアにおける看護師の役割 5) チームアプローチの重要性					講義	金城 恵/ 高岡 佐弥香/ 非常勤講師		
2	2. 身体症状とその治療・看護 1) 身体症状マネジメントの基本的な考え方 2) がん疼痛のアセスメント、治療、看護 3) WHO方式がん疼痛治療法と非オピオイド・オピオイド鎮痛薬の使用法					講義	金城 恵/ 高岡 佐弥香/ 非常勤講師		
3	3. スピリチュアルケア 1) スピリチュアリティ、スピリチュアルペイン 2) スピリチュアルケアの基盤となる考え方 4. 意志決定とコミュニケーション 1) がん医療における患者、家族の意志決定の場面、時期、内容 2) 基本的なコミュニケーションスキル 3) 患者の意思決定における看護師の役割					講義、GW	金城 恵/ 高岡 佐弥香/ 非常勤講師		
4	5. 臨死期(旅立ちの時)のケア 1) 臨死期(旅立ちの時)における一般的な経過や特徴的な症状、ケア 2) 看取り死亡後のケア、家族への対応 6. 家族ケア 1) 緩和ケアを受ける患者の家族が抱える問題のアセスメントと支援方法 2) 大切な人を失った家族の悲嘆の反応 3) 遺族に対するグリーフケア 7. がん看護・緩和ケアにおける看護倫理					講義、GW	金城 恵/ 高岡 佐弥香/ 非常勤講師		
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☒ その他(筆記試験、レポート、学習参加状況) (100) % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
ナーシンググラフィカ 成人看護学⑥緩和ケア					メディカ出版				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
成人看護学 緩和・ターミナルケア看護論					ヌーベルヒロカワ				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	血液・造血疾患の看護								
担当者	伊藤 義則								
開講年次	2年	開講期	2年前期	授業回数	4	時間数	8	単位数	
授業の概要・到達目標 (概要)血液・造血器疾患である急性骨髄性白血病の事例を使いながら、血液造血器疾患患者の特徴、治療過程における看護について学ぶ。 (到達目標)・周手術期にある成人の特徴を理解し、各時期・各段階に応じて生命の維持・管理のための看護を実践するために必要な知識と技術を修得する。 ・声明を脅かす病気に直面している患者とその家族に対して、苦痛をやわらげその人らしい毎日を支えるための緩和ケアの基本的な知識と技術を修得する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	事例の紹介 化学療法と支持療法 化学療法における副作用を緩和するための看護					講義	伊藤 義則		
2	輸血療法と副作用 輸血療法を安全に行うための看護					講義	伊藤 義則		
3	放射線療法における看護 造血幹細胞移植を受ける患者の看護					講義	伊藤 義則		
4	事例を使った看護展開の一例 実習で血液・造血器疾患の患者を受け持った時					講義	伊藤 義則		
■期末試験（100）％ □提出物（ ）％ □小テスト（ ）％ □実技試験（ ）％ □口頭試問（ ）％ □発表（ ）％ □その他（ ）（ ）％ ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名				著者		出版社			
統計看護学講座 成人看護学〔4〕『血液・造血器』						医学書院			
参考書									
書名				著者		出版社			
ナーシンググラフィカ 疾病のなりたち②『臨床薬理学』						メディカ出版			
ナースのためのくすりの辞典2018						メディカ出版			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	呼吸器疾患患者の看護								
担 当 者	青野 健治/ 渡辺 亜希子								
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年前期	授 業 回 数	8	時 間 数	16	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要) 症状及び病態生理を踏まえ、呼吸器の健康障害をもつ対象の特徴、危機・ストレス、適応のプロセスを理解し、アセスメントの方法と看護について学ぶ。									
(到 達 目 標) ・呼吸器の機能上の障害をもつ対象が抱える問題を知り、解決するための知識と技術を修得する。 ・循環器の機能上の障害をもつ対象が抱える問題を知り、解決するための知識と技術を修得する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	呼吸器疾患をもつ患者の理解と看護の特徴 1) 患者の特徴 2) 呼吸器症状と看護 3) 呼吸器疾患患者が受ける検査・治療と看護					講義	渡辺 亜希子		
2	呼吸器疾患をもつ患者の看護 1) 肺がんによる肺切除術を受ける患者の看護					講義	渡辺 亜希子		
3	呼吸器疾患をもつ患者の看護 2) 気胸患者の看護					講義	渡辺 亜希子		
4	呼吸器疾患をもつ患者の看護 3) 気管支喘息患者の看護					講義	渡辺 亜希子		
5	呼吸器疾患をもつ患者の看護 4) 肺炎患者の看護					講義	渡辺 亜希子		
6～7	肺炎患者の看護シミュレーション (酸素療法・酸素ボンベの取り扱い、口腔・鼻腔吸引、フィジカルアセスメント)					演習	渡辺 亜希子		
8	呼吸理学療法					演習	青野 健治		
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学(2)『呼吸器』					医学書院				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
フィジカルアセスメントガイドブック					医学書院				
トートラ人体の構造と機能					丸善				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	循環器疾患患者の看護								
担当者	宮城 篤								
開講年次	2年	開講期	2年前期	授業回数	7	時間数	14	単位数	
授業の概要・到達目標									
(概要)症状別及び病態生理をふまえ循環器の健康障害をもつ対象の特徴、危機・ストレス、適応プロセスを理解し、アセスメントの方法と看護について学ぶ。									
(到達目標)・呼吸器の機能上の障害をもつ対象が抱える問題を知り、解決するための知識と技術を修得する。 ・循環器の機能上の障害をもつ対象が抱える問題を知り、解決するための知識と技術を修得する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	症状に対する看護(p238～p254) ショックを含む					講義	宮城 篤		
2	心不全患者の看護(p316～p328) 心エコー検査、胸部X線検査を含む					講義	宮城 篤		
3	不整脈患者の看護(p331～p334) 電氣的除細動、火t3エーテルアブレーションを含む					講義	宮城 篤		
4	虚血性心疾患患者の看護(p306～p316) PICを含む					講義	宮城 篤		
5	弁膜症・動脈系疾患(p293～p297、p334～p336、p340～p344)					講義	宮城 篤		
6	心臓リハビリテーションと看護(p348～p358)					講義	宮城 篤		
7	循環器看護におけるフィジカルアセスメント					演習	宮城 篤		
☒ 期末試験 (100) % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名					著者	出版社			
系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学〔3〕循環器						医学書院			
参考書									
書名					著者	出版社			
トートラ人体の構造と機能						丸善			
フィジカルアセスメントガイドブック、系統看護学講座 別巻 臨床検査						医学書院			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	消化器疾患患者の看護								
担当者	山田 義長/ 勝連 しのぶ/ 大城 祥子/ 諸喜田 睦子/ 兼本 愛美/ 嘉手川 厚子/ 非常勤講師								
開講年次	2年	開講期	2年後期	授業回数	10	時間数	20	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)症状及び病態生理を踏まえ、消化器の健康障害をもつ対象の特徴、危機、ストレス、適応のプロセスを理解し、アセスメントの方法と看護について学ぶ。									
(到達目標)・消化器の機能上の障害をもつ対象が抱える問題を知り、解決するための知識と技術を修得する。 ・腎臓、泌尿器の機能上の障害をもつ対象が抱える問題を知り、解決するための知識と技術を修得する。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	消化器症状をもつ患者の看護 (p277～p299)					講義	非常勤講師		
2	腹部のフィジカルアセスメント					講義	非常勤講師		
3	外科的治療を受ける患者の看護 大腸癌(p389～p396) 注腸造影、大腸内視鏡検査を含む					講義	非常勤講師		
4	ストーマー造設術の概要(p462～p463) ストーマー造設術前の看護(p463～p467)					講義	非常勤講師		
5	ストーマー造設術後の看護(p467～p474) 回復期の看護(p474～p480)					講義	非常勤講師		
6	内科的治療を受ける患者の看護 肝硬変(p404～p410) 上部消化管内視鏡検査を含む					講義	非常勤講師		
7	内科的治療を受ける患者の看護 ウイルス性肝炎(p396～p404)					講義	非常勤講師		
8	外科的治療を受ける患者の看護 胆石症・胆管炎(テキスト:p416～p424) PTCD、ENBD、ERCPを含む					講義	非常勤講師		
9	外科的治療を受ける患者の看護 肝臓がん(p410～p416) 膵臓癌(p428～p433)					講義	非常勤講師		
10	内科的治療を受ける患者の看護 潰瘍性大腸炎・クローン病(p367～p373)					講義	非常勤講師		
☒ 期末試験 (100) % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ; ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名					著者		出版社		
系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学〔5〕消化器							医学書院		
参考書									
書名					著者		出版社		
フィジカルアセスメントガイドブック、トータル人体の構造と機能							医学書院		
系統看護学講座 臨床検査 別巻							医学書院		
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

授業科目名	消化器疾患患者の看護								
担 当 者	山田 義長/ 勝連 しのぶ/ 大城 祥子/ 諸喜田 睦子/ 兼本 愛美/ 嘉手川 厚子/ 非常勤講師								
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年後期	授 業 回 数	10	時 間 数	20	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要) 症状及び病態生理を踏まえ、消化器の健康障害をもつ対象の特徴、危機、ストレス、適応のプロセスを理解し、アセスメントの方法と看護について学ぶ。									
(到 達 目 標) ・消化器の機能上の障害をもつ対象が抱える問題を知り、解決するための知識と技術を修得する。 ・腎臓、泌尿器の機能上の障害をもつ対象が抱える問題を知り、解決するための知識と技術を修得する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容						方法 (講義・実技・演習)	担当者	
1	消化器症状をもつ患者の看護 (p277～p299)						講義	非常勤講師	
2	腹部のフィジカルアセスメント						講義	非常勤講師	
3	外科的治療を受ける患者の看護 大腸癌(p389～p396) 注腸造影、大腸内視鏡検査を含む						講義	非常勤講師	
4	ストーマ造設術の概要(p462～p463) ストーマ造設術前の看護(p463～p467)						講義	非常勤講師	
5	ストーマ造設術後の看護(p467～p474) 回復期の看護(p474～p480)						講義	非常勤講師	
6	内科的治療を受ける患者の看護 肝硬変(p404～p410) 上部消化管内視鏡検査を含む						講義	非常勤講師	
7	内科的治療を受ける患者の看護 ウイルス性肝炎(p396～p404)						講義	非常勤講師	
8	外的治療を受ける患者の看護 胆石症・胆管炎(テキスト:p416～p424) PTCD、ENBD、ERCPを含む						講義	非常勤講師	
9	外科的治療を受ける患者の看護 肝臓がん(p410～p416) 膵臓癌(p428～p433)						講義	非常勤講師	
10	内科的治療を受ける患者の看護 潰瘍性大腸炎・クローン病(p367～p373)						講義	非常勤講師	
☒ 期末試験 (100) % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ; ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学〔5〕消化器					医学書院				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
フィジカルアセスメントガイドブック、トータル人体の構造と機能					医学書院				
系統看護学講座 臨床検査 別巻					医学書院				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	腎・泌尿器疾患患者の看護								
担当者	嶺井 良恵								
開講年次	2年	開講期	2年後期	授業回数	5	時間数	10	単位数	
授業の概要・到達目標									
(概要)症状及び病態生理を踏まえ、腎・泌尿器疾患による排泄機能障害をもつ患者の状況を理解し、アセスメントの方法と看護について学ぶ。									
(到達目標)・消化器の機能上の障害をもつ対象が抱える問題を知り、解決するための知識と技術を修得する。 ・循環器の機能上の障害をもつ対象が抱える問題を知り、解決するための知識と技術を修得する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	腎・泌尿器疾患をもつ患者の理解と看護の特徴 1)腎・泌尿器疾患患者の看護の特徴と看護の役割 2)腎・泌尿器の基本知識と主な観察の視点					講義	嶺井 良恵		
2	腎不全症状のある患者の看護 糖尿病性腎症(腎性腎不全)の患者の看護を令にあげて 2)急性期の患者の看護 3)慢性期の患者の看護					講義	嶺井 良恵		
3	透析治療を受ける患者の看護1 1)透析患者の看護 2)血液透析患者の看護 導入期から維持期					講義	嶺井 良恵		
4	腎機能低下のある患者のアセスメント Aさんの定期検診結果をアセスメントする					講義、GW	嶺井 良恵		
5	排尿障害のある患者の看護 前立腺肥大のある患者の看護を例にあげて 1)排尿障害を抱えながらのセルフケア 2)泌尿器系の手術を受けるということ					講義	嶺井 良恵		
☒ 期末試験 (50) % ☒ 提出物 (50) % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☒ その他 (出席状況) (10) % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名					著者		出版社		
系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学〔8〕腎・泌尿器							医学書院		
参考書									
書名					著者		出版社		
看護形態機能学 第4版、病気がみえるvol.8腎・泌尿器							看護協会出版会、メディックメディア		
腎不全看護 第3版、根拠がわかる症状別看護過程							医学書院、南栄堂		
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名								脳神経疾患患者の看護											
担 当 者								山城 奈保子/ 諸喜田 睦子/ 大見謝 奈々/ 非常勤講師											
開 講 年 次		2年		開 講 期		2年後期		授 業 回 数		6		時 間 数		12		単 位 数		1	
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標																			
(概 要) 症状及び病態を踏まえ、脳神経疾患による感覚・言語・身体機能障害をもつ患者の特徴、危機・ストレス・適応のプロセスを理解し、アセスメントの方法と看護について学ぶ。																			
(到 達 目 標) ・脳神経系の機能上の障害をもつ対象が抱える問題を知り、解決するための知識と技術を修得する。 ・運動器の機能上の障害をもつ対象が抱える問題を知り、解決するための知識と技術を修得する。 ・女性生殖器の機能上の障害をもつ対象が抱える問題を知り、解決するための知識と技術を修得する。																			
履修における注意事項（受講ルールなど）																			
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。																			
回数		講 義 内 容										方法 (講義・実技・演習)		担当者					
1		1) 症状・障害を持つ患者の看護 ① 患者の特徴 ② 看護の役割 ③ 疾病の経過と看護										講義		非常勤講師					
2		2) 検査を受ける患者の看護 3) 外科的治療を受ける患者の看護 4) 内科的治療を受ける患者の看護										講義		非常勤講師					
3		5) 疾患を持つ患者の看護 ① 脳梗塞 ② くも膜下出血 ③ 頭部外傷 ④ 髄膜炎										講義		非常勤講師					
4		6) 手術を受ける患者の看護 ① 開頭術 ② 尖頭術 ③ 脳室－腹腔＜V-P＞シャント術										講義		非常勤講師					
5～6		手術療法を受けた患者の看護										演習		非常勤講師					
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ■ その他 (筆記試験、提出物、出席状況) (100) % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。																			
教 科 書																			
書 名										著 者					出 版 社				
系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学〔7〕脳・神経															医学書院				
参 考 書																			
書 名										著 者					出 版 社				
系統看護学講座 臨床検査 別巻、臨床放射線医学 別巻															医学書院				
フィジカルアセスメントガイドブック															医学書院				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）																			

授業科目名	運動疾患患者の看護								
担 当 者	平良 めぐみ/ 非常勤講師								
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年後期	授 業 回 数	5	時 間 数	10	単 位 数	
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要) 症状及び病態を踏まえ、整形外科疾患による感覚・身体機能障害をもつ患者の特徴、危機、ストレス・適応のプロセスを理解し、アセスメントの方法と看護について学ぶ。									
(到 達 目 標)・脳神経系の機能上の障害をもつ対象が抱える問題を知り、解決するための知識と技術を修得する。 ・運動器の機能上の障害をもつ対象が抱える問題を知り、解決するための知識と技術を修得する。 ・女性生殖器の機能上の障害をもつ対象が抱える問題を知り、解決するための知識と技術を修得する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容						方法 (講義・実技・演習)	担当者	
1	1) 援助のためのおもな知識と技術 2) 症状に対する看護 3) 検査を受ける患者の看護						講義		
2	4) 保存療法を受ける患者の看護 ① 保存療法 ② 牽引法 ③ ポジショニングの援助						講義		
3	5) 手術を受ける患者の看護 ① 手の腱の手術 ② 脊椎の手術 ③ 間接の手術 ④ 四肢切断の手術						講義		
4-5	牽引療法を受ける患者の看護						演習	平良 めぐみ	
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ; ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ■ その他 (筆記試験、提出物、出席状況) (100) % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学〔10〕運動器					医学書院				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
フィジカルアセスメントガイドブック					医学書院				
トータル人体の構造と機能					丸善				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	女性生殖器疾患患者の看護								
担 当 者	成田 明日香								
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年後期	授 業 回 数	4	時 間 数	8	単 位 数	
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)女性生殖器機能障害をもつ対象の特徴、危機、ストレス、適応のプロセスを理解し、アセスメントの方法と看護について学ぶ。									
(到 達 目 標)・脳神経系の機能上の障害をもつ対象が抱える問題を知り、解決するための知識と技術を修得する。 ・運動器の機能上の障害をもつ対象が抱える問題を知り、解決するための知識と技術を修得する。 ・女性生殖器の機能上の障害をもつ対象が抱える問題を知り、解決するための知識と技術を修得する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	1)外来・病棟における看護 2)診療解除における看護 3)症状とその病態に対する看護					講義	成田 明日香		
2	4)女性生殖器疾患患者の看護 ①子宮・卵巣疾患患者の治療に伴う看護 子宮筋腫 子宮内膜症 胎状奇胎					講義	成田 明日香		
3	4)女性生殖器疾患患者の看護 ①子宮・卵巣疾患患者の治療に伴う看護 子宮がん 卵巣がん ②ホルモン療法を受ける患者の看護 月経異常・月経随伴症状のある患者の看護 更年期障害のある患者の看護 ③性感染症患者の看護					講義	成田 明日香		
4	④乳がん患者の看護					講義	成田 明日香		
☒ 期末試験 (100) % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学〔9〕女性生殖器疾患患者の看護					医学書院				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学					医学書院				
トータル人体の構造と機能					丸善				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

[illegible]

授業科目名	内分泌系疾患患者の看護								
担当者	畑 直樹								
開講年次	2年	開講期	2年前期, 2年後期	授業回数	5	時間数	10	単位数	
授業の概要・到達目標									
(概要) 内分泌系疾患の基礎知識をふまえ、患者の病気の体験を理解し、日常生活・社会的役割に及ぼす影響についてアセスメントし、対象の健康を維持・増進するセルフケアを支援する看護援助を学習する。									
(到達目標) ・内分泌系の機能上の障害をもつ対象が抱える問題を知り、解決するための知識と技術を修得する。 ・救急治療、集中治療を必要とする対象が抱える問題を解決するための知識と技術を知る。 ・健康障害をもつ対象に介入するための看護を展開する基本的な知識と技術を修得する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	内分泌機能障害のある患者の看護 1) 副腎機能障害 2) 下垂体疾患患者の看護 3) ホルモン検査					講義	畑 直樹		
2	内分泌機能障害のある患者の看護 1) 甲状腺機能障害、副腎機能障害、下垂体機能障害 甲状腺疾患患者の看護 ・バセドウ病 ・甲状腺機能低下症 ・甲状腺切除術					講義	畑 直樹		
3	糖尿病患者の看護 1) 血糖調節機能障害 2) 症状とその看護 3) 豆腐か試験、血糖自己測定 4) 食事・運動療法 5) インスリン療法、糖尿病治療内服薬					講義	畑 直樹		
4	2型糖尿病患者のアセスメント、ケア					GW	畑 直樹		
5	糖尿病患者のライフスタイルにあった地域における支援の実際					講義	畑 直樹		
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ; ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ■ その他 (筆記試験、レポート、GW参加状況) (100) % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名			著者			出版社			
成人看護学⑥ 内分泌・代謝						医学書院			
参考書									
書名			著者			出版社			
看護過程に沿った対症看護 病態生理と看護のポイント						学研			
ナーシンググラフィカ 成人看護学③ セルフマネジメント						メディカ出版			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名 救急看護							
担 当 者							
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年後期	授 業 回 数	5	時 間 数	10
単 位 数							
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標 (概 要) 救急集中医療について理解し、救急集中医療を必要とする対象及び家族への看護を学び、危機状況にある人への支援について考える。 (到 達 目 標) ・ 内分泌系の機能上の障害をもつ対象が抱える問題を知り、解決するための知識と技術を修得する。 ・ 救急治療、集中治療を必要とする対象が抱える問題を解決するための知識と技術を知る。 ・ 健康障害をもつ対象に介入するための看護を展開する基本的な知識と技術を修得する。							
履修における注意事項（受講ルールなど）							
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容					方 法 (講義・実技・演習)	担 当 者
1	救急外来における看護					講義	
2	集中治療下での看護①					講義	
3	集中治療下での看護②					講義	
4	救急患者の家族に対する看護					講義	
5	救急搬送患者への対応					演習	
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ; ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ■ その他 (筆記試験、提出物、出席状況) (100) % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名		著 者			出 版 社		
救急期看護Ⅱ 救急看護					南江堂		
参 考 書							
書 名		著 者			出 版 社		
フィジカルアセスメントガイドブック					医学書院		
系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学① 成人看護学総論					医学書院		
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）							

老年看護学

授業科目名	老年看護学Ⅰ								
担 当 者	西崎 佳子/ 田中 麻樹/ 平良 浩代/ 砂川 昌信								
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年前期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)高齢者の加齢に伴う生理的・病的変化について理解し、生活を支える看護技術について学ぶ。									
(到 達 目 標)超高齢社会に生きる高齢者の生活と加齢による健康状態の変化について、日本の歴史的背景を踏まえ、社会制度と関連付けありのままを捉える力を身につける。また、多様な場で生活する高齢者の健康を支えるための看護について、関心を持つ。高齢者に関わる際に必要な倫理的態度を身につける。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	高齢者の加齢変化とアセスメントの方法					講義			
2	高齢者の生活機能を整える看護の展開 1)日常生活を支える基本動作と看護ケア					講義			
3	2)転倒・廃用症候群の予防と看護ケア					講義			
4	3)排泄と看護ケア					講義			
5	4)清潔と看護ケア					講義			
6	5)生活リズムと看護ケア					講義			
7	6)コミュニケーションと看護ケア					講義			
8	高齢者における口腔内の変調と看護ケア					講義			
9	認知症高齢者の看護①					講義			
10	認知症高齢者の看護②					GW			
11	老年期におけるリハビリテーション					講義			
12-13	関節可動域訓練の実際 移乗・移動介助方法の基本 「杖歩行」「松葉杖歩行」「車椅子移乗移動動作」					演習			
14-15	日常生活援助技術 1)技師の装着と洗浄 2)腰背部の温電法、腹部マッサージ 3)膀胱留置カテーテル					演習			
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ■その他 (筆記試験、提出物、出席状況) (100) % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名			著 者			出 版 社			
新体系看護学全書 老年看護学①老年看護学概論・老年保健、老年看護学②健康障害をもつ高齢者の看護									
写真でわかる 高齢者ケアアドバンス						インターメディカ			
参 考 書									
書 名			著 者			出 版 社			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	老年看護学Ⅱ								
担当者	田中 麻樹								
開講年次	2年	開講期	2年後期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)加齢に伴う健康問題および健康障害をもつ高齢者を理解し、老年看護の実践について学ぶ。									
(到達目標)加齢に伴うあらゆる健康レベルにある高齢者を理解し、看護に必要な知識・技術・態度を修得する。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	高齢者特有の症状:掻痒 高齢者特有の疾患と看護:皮膚疾患(掻痒・白痒)					講義	田中 麻樹		
2	高齢者特有の症状:脱水と浮腫の看護					講義	田中 麻樹		
3	高齢者に特有の疾患と看護:感染症(インフルエンザ・感染症・胃腸炎) 高齢者に対する薬物療法					講義	田中 麻樹		
4-5	摂食嚥下機能と食事 高齢者の日常生活援助:「摂食嚥下ケア」					講義	田中 麻樹		
6-7	摂食嚥下障害のある高齢者の食事介助 ①口腔ケア ②安全な体位と食事介助方法					演習	田中 麻樹		
8	検査・手術を受ける高齢者の看護					講義	田中 麻樹		
9	高齢者に特有の疾患と看護 1)感覚器疾患:白内障・緑内障					講義	田中 麻樹		
10	高齢者に特有の疾患と看護 2)運動器疾患:骨粗鬆症・変形性股関節症・リウマチ					講義	田中 麻樹		
11	栄養ケアマネジメント					講義	田中 麻樹		
12	経鼻経管栄養法について					演習	田中 麻樹		
13	高齢者のエンドオブライフを支える看護ケア 1)様々な場での看取り					講義	田中 麻樹		
14-15	高齢者のエンドオブライフを支える看護ケア 2)エンゼルケア					演習	田中 麻樹		
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者			出版社				
新体系看護学全書 老年看護学①老年看護学概論		老年保健、老年看護学②健康障害をもつ高齢者の看護							
系統看護学講座専門Ⅱ 成人看護学⑩・⑪・⑬・⑮					医学書院				
参考書									
書名		著者			出版社				
写真でわかる高齢者ケア アドバンス					インターメディアカ				
カラー写真で学ぶ 高齢者の看護技術					医歯薬出版社				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

専門分野Ⅱ

授業科目名	老年看護学Ⅲ								
担当者	西崎 佳子								
開講年次	2年	開講期	2年前期, 2年後期	授業回数	8	時間数	16	単位数	1
授業の概要・到達目標 (概要)生活機能の観点からアセスメントし、看護を展開する方法を学ぶ。また、高齢者を支える多職種との連携および医療チームにおける看護の役割について学ぶ。 (到達目標)あらゆる健康レベルにある高齢者への看護を展開するための方法をみにつける。 高齢者を医療チームで支えることの必要性がわかる。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容	方法 (講義・実技・演習)	担当者						
1	認知症高齢者の看護展開①	講義、GW	西崎 佳子						
2	認知症高齢者の看護展開②	講義、GW	西崎 佳子						
3	認知症高齢者の看護展開③	講義、GW	西崎 佳子						
4	認知症高齢者の看護展開④	講義、GW	西崎 佳子						
5	多職種との連携 1)介護福祉士	講義	西崎 佳子						
6	2)作業療法士	講義	西崎 佳子						
7-8	尿路感染症高齢者の看護展開 (シミュレーション)	演習	西崎 佳子						
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者		出版社					
新体系看護学全書 老年看護学①、②				インターメディカ					
写真でわかる高齢者ケアアドバンス									
参考書									
書名		著者		出版社					
生活機能からみた 老年看護過程				医学書院					
系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学〔8〕腎・泌尿器				医学書院					
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

小児看護学

授業科目名	小児看護学Ⅱ								
担当者	知名 耕一郎								
開講年次	2年	開講期	2年前期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)小児特有な遺伝子病、先天性疾患、伝染性疾患などを中心に疾患について学ぶ									
(到達目標)小児に特有な遺伝子病、先天性疾患、伝染性疾患など中心に疾患を修得する。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容	方法 (講義・実技・演習)	担当者						
1	小児の特性		知名 耕一郎						
2	遺伝・先天性疾患		知名 耕一郎						
3	新生児心疾患	講義	知名 耕一郎						
4	感染症①	講義	知名 耕一郎						
5	感染症②	講義	知名 耕一郎						
6	循環器疾患	講義	知名 耕一郎						
7	消化器疾患	講義	知名 耕一郎						
8	腎・泌尿器・生殖器疾患	講義	知名 耕一郎						
9	代謝・内分泌疾患	講義	知名 耕一郎						
10	免疫・アレルギー疾患	講義	知名 耕一郎						
11	血液・造血器疾患	講義	知名 耕一郎						
12	腫瘍性疾患	講義	知名 耕一郎						
13	神経・運動器疾患	講義	知名 耕一郎						
14	感覚器系疾患	講義	知名 耕一郎						
15	精神疾患	講義	知名 耕一郎						
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名	著者	出版社							
系統看護学講座 小児臨床看護各論		医学書院							
参考書									
書名	著者	出版社							
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

専門分野Ⅱ

授業科目名	小児看護学Ⅲ								
担 当 者	非常勤講師								
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年後期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)健康障害をもつ小児と家族について理解し、症状アセスメント・発達段階に応じた援助の方法を学ぶ。 さまざまな状況にある小児と家族について理解し、その援助方法を学ぶ。									
(到 達 目 標)健康障害をもつ小児と家族について理解することができる。 症状のアセスメント方法について修得する。発達段階に応じた援助の方法を修得する。さまざまな状況にある小児と家族について理解し、その援助方法を修得する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	1. 急性期にある子供と家族への援助 ・発熱時のアセスメントと家族 ・発疹時のアセスメントと看護 ・痙攣時のアセスメントとの看護					講義	非常勤講師		
2	・嘔吐・下痢時のアセスメントと看護 ・脱水時のアセスメントと看護					講義	非常勤講師		
3	・呼吸困難時のアセスメントと看護 ・疼痛時のアセスメントと看護					講義	非常勤講師		
4	手術を受ける子どもと家族への看護					講義	非常勤講師		
5	感染症をもつ子供と家族への看護					講義	非常勤講師		
6	慢性期にある子どもと家族への看護①					講義	非常勤講師		
7	慢性期にある子どもと家族への看護②					講義	非常勤講師		
8	終末期にある子どもと家族への看護					講義	非常勤講師		
9	救急における子どもと家族への看護					講義	非常勤講師		
10	心身障害のある子どもと家族への看護					講義	非常勤講師		
11	ハイリスク新生児と家族への看護					講義、DVD	非常勤講師		
12	先天的な健康問題をもつ子どもと家族への看護					講義	非常勤講師		
13	災害を受けた子どもと家族への看護					講義	非常勤講師		
14-15	入院における小児と家族への援助 (シミュレーション学習)					演習	非常勤講師		
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名					著 者		出 版 社		
系統看護学講座 小児看護学概論 小児臨床看護総論							医学書院		
系統看護学講座 小児臨床看護各論							医学書院		
参 考 書									
書 名					著 者		出 版 社		
子どもの病気の地図帳							講談社		
ナーシンググラフィカ小児看護学 小児の発達と看護							メディカ出版		
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

母性看護学

授業科目名	母性看護学Ⅰ								
担当者	新垣 由紀乃/ 非常勤講師								
開講年次	2年	開講期	2年前期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要) 妊娠期における妊婦の身体的変化、心理・社会的変化を理解し、妊婦・胎児の健康状態のアセスメント、妊婦の保健相談や生活指導、家族を含めた看護について学ぶ。また、分娩経過に伴う産婦の身体的変化、心理・社会的変化を理解し、産婦・胎児・家族のアセスメントおよび援助の実践を学ぶ。 (到達目標) 1. 正常経過にある妊婦・産婦の身体的特性・心理社会的特性を理解し、セルフケアを促進する看護について分かる。 2. 家族発達を促す看護、母性における基本的な看護技術を習得する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1～6	妊娠期における看護 1) 妊娠期の身体的特徴 2) 妊娠期の心理・社会的特徴 3) 妊婦と胎児のアセスメント 4) 妊婦と家族の看護					講義、GW	新垣 由紀乃		
7～8	妊婦に必要な教育支援					講義、GW	新垣 由紀乃		
9～13	分娩期における看護 1) 分娩の要素 2) 分娩の経過 3) 産婦・胎児・家族のアセスメント 4) 産婦と家族の看護					講義、GW	新垣 由紀乃		
14	産婦の援助に必要な技術					演習	新垣 由紀乃		
15	不妊治療と看護					講義	非常勤講師		
☐ 期末試験 () % ☒ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☒ その他 (出席状況) () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者			出版社				
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学② 母性看護学各論					医学書院				
写真でわかる 母性看護学技術					インターメディカ				
参考書									
書名		著者			出版社				
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学① 母性看護学概論					医学書院				
母性看護学 ①母性看護実践の基本					メディカ出版				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名 母性看護学Ⅱ									
担 当 者 砂川 唱子/ 徳田 奈美									
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年後期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要) 褥婦の身体的変化、褥婦および家族の心理・社会的変化を理解し、母子の健康や家族の発達を促す看護について学ぶ。また、新生児期の特徴を理解し、新生児が心身ともに健康に成長・発達することを助けるための看護について学ぶ。さらに、事例を用いて産褥期にある母子の看護展開を学習し、対象者の健康促進に向けた教育支援の必要性や方法について考える。 (到 達 目 標) 1. 正常経過にある褥婦・新生児の身体的特性・心理社会的特性を理解し、その看護を展開できる。 2. 家族発達を促すための看護、母性における基本的な看護技術が実践できる。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	産褥期における看護 1)産褥経過と褥婦のアセスメント					講義	砂川 唱子		
2	2)母乳分泌の仕組みと経過 乳房・乳頭の観察					講義	砂川 唱子		
3	3)褥婦の援助に必要な技術 子宮復古の観察					講義	砂川 唱子		
4	4)褥婦と家族の看護 心理・社会的変化 事例紹介					講義	砂川 唱子		
5～7	新生児期における看護 1)新生児の生理学的適応 2)新生児のアセスメント 3)早期新生児の看護ケア					講義	徳田 奈美		
8	5)褥婦・新生児の看護展開の発表					発表	砂川 唱子		
9～10	褥婦・新生児への事例展開 教育支援(パンフレット作成)					講義、GW	砂川 唱子		
11	教育支援 場面・指導案作成					講義、GW	砂川 唱子		
12～13	教育支援発表(ロールプレイ)					講義、GW	砂川 唱子		
14	新生児の情報収集に必要なアセスメント技術(新生児の観察、計測)					演習	徳田 奈美		
15	新生児の援助に必要な看護技術(沐浴)					演習	徳田 奈美		
■期末試験 () % ■提出物 () % □小テスト () % □実技試験 () % □口頭試問 () % □発 表 () % ■その他 (出席状況) () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名					著 者	出 版 社			
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学Ⅱ 母性看護学各論						医学書院			
写真でわかる母性看護技術						インターメディカ			
参 考 書									
書 名					著 者	出 版 社			
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学① 母性看護学概論						医学書院			
母性看護学 ①母性看護実践の基本						メディカ出版			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

精神看護学

専門分野Ⅱ

授業科目名	精神看護学Ⅰ								
担当者	堀 美帆								
開講年次	2年	開講期	2年前期	授業回数	8	時間数	16	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)精神疾患、精神障がい症状、検査、治療法を理解する。									
(到達目標)									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	精神症状					講義	堀 美帆		
2	精神疾患と脳の構造と機能					講義	堀 美帆		
3	統合失調症・気分(感情)障がい					講義	堀 美帆		
4	神経症性障がい・ストレス関連障がい					講義	堀 美帆		
5	アルコール依存と薬物依存					講義	堀 美帆		
6	器質性精神障がい・自閉スペクトラム					講義	堀 美帆		
7	精神疾患・障がいの検査					講義	堀 美帆		
8	精神疾患・障がいの治療					講義	堀 美帆		
☒ 期末試験 (100) % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名					著者	出版社			
『新体系看護学全書 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護』						メヂカルフレンド社			
参考書									
書名					著者	出版社			
『新体系看護学全書 精神看護学① 精神看護学概論 精神保健』						メヂカルフレンド社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

授業科目名	精神看護学Ⅱ								
担 当 者	高良 勝俊/ 城間 久美子/ 大城 幸仁/ 大城 拓三								
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年前期, 2年後期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)精神に障がいをもつ患者との関わり方やその看護の方法を学ぶ。									
(到 達 目 標)									
履修における注意事項 (受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方 法 (講義・実技・演習)	担 当 者		
1	精神障がい者の歴史、現状と法律・制度の変遷					講義	大城 拓三		
2	精神障がい者におけるコミュニケーション技法					講義	大城 拓三		
3	精神科における安全と治療環境					講義	高良 勝俊		
4	精神障がい者の理解①					講義	高良 勝俊/ 大城 幸仁/ 城間 久美子		
5	精神障がい者の理解②					講義	高良 勝俊/ 大城 拓三/ 城間 久美子		
6~10	症状別看護(協同学習) ①幻覚 ②妄想 ③躁状態 ④無為・自閉 ⑤不安 ⑥強迫						大城 幸仁		
11	各種治療時の看護:薬物療法						高良 勝俊		
12	各種治療時の看護:作業療法、レクリエーション療法						高良 勝俊		
13	各種治療時の看護:精神療法、生活指導						高良 勝俊		
14	観察と記録						高良 勝俊		
15	プロセスレコード						高良 勝俊		
☒ 期末試験 (100) % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ; ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名					著 者	出 版 社			
『新体系看護学全書 精神看護学①精神看護学概論・精神保健』						メヂカルフレンド社			
『新体系看護学全書 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護』									
参 考 書									
書 名					著 者	出 版 社			
教員からのメッセージ (予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

統合分野

在宅分看護論

授業科目名				在宅看護論Ⅰ					
担当者				畑 直樹/ 山口 美恵子/ 平田 寿恵/ 福井 彰雄/ 松岡 太郎/ 呉屋 勝治/ 浜本 強					
開講年次	2年	開講期	2年前期, 2年後期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)在宅看護の対象者を身体的・精神的・社会的・スピリチュアル的な側面から捉えることで、療養者の強みを見出す方法を学ぶ。さらに病気や障がいを抱えながらも、その人らしく最期まで在宅療養を継続するための生き抜く力を支援する方法を考える。									
(到達目標)1)在宅療養者とその家族を支える諸制度の特徴が分かる。 2)在宅で療養することの多い疾患に対して、療養者の特性、アセスメントの視点、ケアの方法、教育支援の必要性が分かる。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	地域療養を支える各種制度					講義			
2	慢性閉塞性肺疾患療養者の理解と在宅看護の特徴					講義			
3-5	難病を患う療養者の理解と在宅看護の特徴					講義			
6	終末期にある療養者の理解と在宅看護の特徴					講義			
7	がん治療中の療養者の理解と在宅看護の特徴					講義			
8-9	認知症を有する人の理解と在宅看護の特徴					講義			
10	精神疾患を有する人の理解と在宅看護の特徴					講義			
11-12	在宅療養児及びその家族の理解と在宅看護の特徴					講義			
13	在宅で療養する呼吸器疾患の療養者と医療機器					講義			
14-15	在宅で療養する療養者に対する多職種連携 1)理学療法士 2)作業療法士					講義			
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者			出版社				
家族を基盤とした在宅看護論Ⅰ 概論編					日本看護協会出版				
在宅看護論①地域療養を支えるケア、看護実践のための根拠がわかる在宅看護技術					メディカ出版、メヂカルフレンド社				
参考書									
書名		著者			出版社				
系統看護学講座 専門Ⅱ 小児臨床看護各論小児看護学②、緩和ケア					医学書院				
系統看護学講座 専門Ⅱ 老年看護					医学書院				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

授業科目名	在宅看護論Ⅱ								
担 当 者	畑 直樹								
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年前期, 2年後期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)事例を通して、在宅における看護展開の方法を学ぶ。また在宅療養者への看護技術を提供する為に必要な知識を得る。さらにその知識を深め、在宅療養者及びその家族が安心・安全・安楽な療養生活が続けるための教育支援技術を学ぶ。									
(到 達 目 標)1)事例を通して在宅療養者の看護展開の方法を身につける。 2)在宅療養者の日常生活援助技術及び医療処置技術を修得する。 3)教育支援技術の方法が分かる。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1-7	在宅看護展開 1)在宅看護展開の特徴 2)事例に関して ①情報収集の視点 ②アセスメント ③優先順位の決定 ④問題の明確化 ⑤ビジョン・ゴールの設定 ⑥アウトカムの設定 3)事例に関する教育支援技術					講義、GW			
8-10	在宅看護技術 1)在宅療養者の生活援助技術					講義、GW			
11-13	在宅看護技術 2)在宅療養者の医療処置技術					講義、GW			
14-15	在宅看護技術演習 1)気管吸引 2)褥瘡ケア 3)排便 4)マッサージ 5)ポジショニング					演習			
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
家族を基盤とした在宅看護論 I 概論編					日本看護協会出版				
ナーシンググラフィカ在宅看護論① 地域療養を支えるケア					メディカ出版				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
(教科書)看護実践のための根拠がわかる 在宅看護技術					メヂカルフレンド社				
強みと弱みからみた 在宅看護過程					医学書院				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

シラバス 2021

3 学年

授 業 科 目

專門基礎分野

基礎専門分野

授業科目名	社会福祉								
担当者	上地 武昭								
開講年次	3年	開講期	3年前期, 3年後期	授業回数	15	時間数	30	単位数	2
授業の概要・到達目標									
(概要)社会福祉と医療、社会保障の関連について概説する。									
(到達目標)社会福祉と医療、社会保障の関連について理解する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1～4	社会保障制度と社会福祉の歴史 1. 社会福祉とは何か 2. 社会福祉の基本的性格・生活問題の展開 3. ひとり親家庭の福祉					講義	上地 武昭		
5	現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向					講義	上地 武昭		
6	医療保障と所得保障					講義	上地 武昭		
7	老人福祉法・老年保健法					講義	上地 武昭		
8	介護保険法					講義	上地 武昭		
9	公的扶助					講義	上地 武昭		
10～13	社会福祉の分野とサービス 1. 障害者福祉・障害者自立支援法 2. DV防止法・援助技術 3. 児童福祉法					講義	上地 武昭		
14	社会福祉実践と医療・看護					講義	上地 武昭		
15	社会福祉の歴史					講義	上地 武昭		
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ■その他 (筆記試験・出席状況) (100) % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名					著者	出版社			
系統看護学講座専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 [3] 社会福祉						医学書院			
参考書									
書名					著者	出版社			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

基礎専門分野

授業科目名	関係法規								
担 当 者	新城 正紀								
開 講 年 次	3年	開 講 期	3年前期, 3年後期	授 業 回 数	8	時 間 数	16	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要) 法令、厚生行政の仕組みの理解のもとに医事法規概要、関連法規を学ぶ。									
(到 達 目 標) 看護職に必要な法令について理解する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容						方法 (講義・実技・演習)	担当者	
1	健康支援と法律						講義		
2	医療の提供に関連する法律－1						講義		
3	医療の提供に関連する法律－2						講義		
4	疾病予防・健康増進に関連する法律－1						講義		
5	疾病予防・健康増進に関連する法律－2						講義		
6	医薬品・食品に関連する法律						講義		
7	労働に関連する法律－1						講義		
8	労働に関連する法律－2						講義		
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☒ その他 (筆記試験・出席) (100) % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名			著 者			出 版 社			
新体系 健康支援と社会保障制度 4 関係法規						メヂカルフレンド社			
参 考 書									
書 名			著 者			出 版 社			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

専門分野 I

基礎看護学

授業科目名		看護と研究							
担当者		伊藤 義則							
開講年次	3年	開講期	3年前期, 3年後期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)看護研究の目的、課程を理解し看護ゼミナールを通して臨地実習の実践を振り返り、自己の看護観を深める。									
(到達目標)看護研究の目的や過程を理解し、看護ゼミナールを通して臨地実習の実践を振り返り、自己の看護観を深めることができる。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	1. 研究を行う看護者の基本姿勢 1)看護研究の目的・種類 2)看護実践と研究との関係					講義	伊藤 義則		
2-3	2. ケース・スタディの意義と実際 1)ケーススタディとは何か 2)ケーススタディのメリットとデメリット 3)倫理的配慮 4)文献検索					講義	伊藤 義則		
4-5	3. ケースレポートの書き方					GW、講義	伊藤 義則		
6	4. 看護ゼミナールについて 1)ゼミ発表オリエンテーション 2)発表技法					講義	伊藤 義則		
7-15	5. ケース・スタディのまとめ 6. ゼミナール発表					個人ワーク、発表	伊藤 義則		
☐ 期末試験 () % ☒ 提出物 (30) % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☒ その他 (出席状況、ゼミナール発表、論文、 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。 ルーブリック評価表に基づく) (70) %									
教科書									
書名		著者			出版社				
新版 看護のためのわかりやすいケーススタディの進め方					照林社				
参考書									
書名		著者			出版社				
看護理論 理論と実践のリンケージ		ヌーベルヒロカワ							
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

専門分野Ⅱ

母性看護学

[illegible]

精神看護学

授業科目名	精神看護学Ⅲ								
担当者	高橋 忍/ 高良 勝俊/ 上原 勝子/ 前原 直輝/ 大城 拓三								
開講年次	3年	開講期	3年前期, 3年後期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)既習の知識を基盤に、精神疾患の治療・看護、保健医療と社会福祉との連携を学ぶ。									
(到達目標)									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	シミュレーション(統合失調症患者の看護①)					演習	高良 勝俊/ 大城 拓三		
2	シミュレーション(統合失調症患者の看護②)					演習	高良 勝俊/ 大城 拓三		
3	精神障がいをもつ人を守る法・制度					講義	高良 勝俊		
4	精神発達障がい者の看護					講義	高良 勝俊		
5	双極性障がい者の看護					講義	大城 拓三		
6	不安障がい・強迫性障がい者の看護					講義	大城 拓三		
7	心的外傷後ストレス障がい・解離性障がい・パートナーリティ障がい者の看護					講義	高良 勝俊		
8	睡眠覚醒障がい・摂食障がい者の看護					講義	高良 勝俊		
9	アルコール関連障がい・嗜癖性障がいの看護					講義	大城 拓三		
10	神経認知障がい者の看護					講義	高良 勝俊		
11	てんかん患者の看護					講義	高良 勝俊		
12	リエゾン精神看護					講義	上原 勝子		
13	災害時の精神保健					講義	前原 直輝		
14	精神障がいを持つ人の地域における生活への支援①					講義	高橋 忍		
15	精神障がいを持つ人の地域における生活への支援②					講義	高橋 忍		
☒ 期末試験 (100) % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ; ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者			出版社				
新体系看護学全書 精神看護学① 精神看護学概論・精神保健					メヂカルフレンド社				
新体系看護学全書 精神看護学② 障害を持つ人の看護					メヂカルフレンド社				
参考書									
書名		著者			出版社				
教員からのメッセージ (予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

統合分野

在宅分看護論

授業科目名	在宅看護論Ⅲ								
担当者	桑江 輝代/ 山口 美恵子/ 平田 寿恵								
開講年次	3年	開講期	3年前期	授業回数	8	時間数	16	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)訪問看護の面接技術及びアセスメントの方法について学ぶ。またケアマネジメント及び、訪問看護の実践について学ぶ。									
(到達目標)1)訪問看護技術を習得する。 2)介護保険制度とケアマネージャーの役割を知る。 3)訪問看護の実践を知る。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
課題学習は時間厳守 演習は原則参加する。									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	訪問看護・訪問時の面接技術 1)第一印象の重要性 2)情報収集 3)信頼関係の構築					講義	山口 美恵子		
2～3	訪問看護技術とアセスメント 1)片麻痺のある療養者と家族への援助					演習	山口 美恵子		
4～5	2)ALSの療養者と家族への援助					演習	山口 美恵子		
6	訪問看護受けるための制度					講義	山口 美恵子		
7	居宅介護支援事業所におけるケアマネジメントの実践					講義	桑江 輝代		
8	訪問看護活動の実践					講義	平田 寿恵		
☒ 期末試験 (70) % ☒ 提出物 (30) % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☒ その他 (出席状況) () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者			出版社				
家族看護を基盤とした 在宅看護論 I 概論編					日本看護協会出版				
看護実践のための根拠がわかる 在宅看護技術					メヂカルフレンド				
参考書									
書名		著者			出版社				
系統看護学講座 健康支援と社会保障制度<3> 社会保障・社会福祉					医学書院				
新体系看護学全書 健康支援と社会保障制度 [4] 関係法規					メヂカルフレンド社				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

看護の統合と実践

授業科目名	看護管理								
担当者	津嘉山 みどり								
開講年次	3年	開講期	3年後期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)看護マネジメント能力を育成するため、看護における管理の基本、患者満足度を考える環境づくり、組織運営、管理業務などを学ぶ。									
(到達目標)保健・医療・福祉のシステムを知り、看護マネジメント能力を育成するため看護管理の基本・組織運営などを理解する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容						方法 (講義・実技・演習)	担当者	
1～2	1. 看護とマネジメント 1)看護観理学とは 2)看護におけるマネジメント						講義	津嘉山 みどり	
3～4	2. ケアマネジメント 1)看護基準と手順 2)看護の権利と尊重 3)看護職の協働 4)他職種との協働						講義	津嘉山 みどり	
5～10	3. 看護サービスのマネジメント 1)看護サービスのマネジメント 2)組織目的達成のマネジメント 3)協働のマネジメント 4)薬物管理 5)物品供給システム 6)情報のマネジメント 7)技術のマネジメント 8)組織と個人 キャリアとキャリア開発 ストレスマネジメント タイムマネジメント						講義/演習	津嘉山 みどり	
11～12	4. 看護をとりまく諸制度 1)看護の定義 2)看護職 3)看護職の倫理 4)看護実践の領域と場 5)医療保険制度と診療報酬						講義	津嘉山 みどり	
13～15	5. マネジメントに必要な知識と技術 1)サービスの評価 2)組織とマネジメント 3)リーダーシップとマネジメント 4)組織の調整						講義	津嘉山 みどり	
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名				著者		出版社			
系統看護学講座 看護の統合と実践 [1] 看護管理						医学書院			
参考書									
書名				著者		出版社			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	災害看護								
担 当 者	安谷屋 寛子/ 高尾 実千代/ 佐々木 秀章/ 長嶺 千寿子/ 與那覇 美奈子								
開 講 年 次	3年	開 講 期	3年前期, 3年後期	授 業 回 数	8	時 間 数	16	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)災害の概念、災害時の看護者の役割を理解し、災害によって健康を害した人々への基礎援助方法を学ぶ。又、国際協力のしくみや災害時の救助活動について学ぶ。									
(到 達 目 標)災害の概念や看護者の役割・看護の実際などを理解する。 又、国際協力や活動の実際について学ぶ。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	災害看護学・国際看護学とはなにか 災害看護・国際看護と倫理					講義	長嶺 千寿子		
2～3	災害医療の昨今 災害とは、災害の分類、災害医療の定義 災害医療における重要概念 (トリアージ等) DMATと広域搬送					講義	佐々木 秀章		
4	災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護 急性期・亜急性期 被災病院における初動活動					講義	安谷屋 寛子		
5	災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護 慢性期・復興期～静穏期					講義	安谷屋 寛子		
6	被災者および救援者への援助 こころのケア					講義	與那覇 美奈子		
7	国際救援活動における看護 赤十字活動の実際					講義	高尾 実千代		
8	国際看護学 グローバルヘルス支援など					講義	長嶺 千寿子		
☒ 期末試験（100）％ ☐ 提出物（ ）％ ☐ 小テスト（ ）％ ☐ 口頭試問（ ）％ ☐ 発 表（ ）％ ☐ その他（ ）（ ）％									
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名			著 者			出 版 社			
系統看護学講座看護の統合と実践〔3〕			災害看護・国際看護			医学書院			
参 考 書									
書 名			著 者			出 版 社			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	看護と医療安全								
担当者	長嶺 千寿子								
開講年次	3年	開講期	3年前期, 3年後期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)対象の状況と場に応じた安全で質の高い医療や看護ケアを提供するために、安全システムの構築に参画できる基礎的知識・技術について学ぶ。									
(到達目標)臨床実践に必要な医療安全の基礎的知識を習得し、医療安全対策の基本的考え方を理解する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	(1)医療安全を学ぶことの重要性 ①人はなぜ間違いをおかすのか					講義			
2	(2)事故防止の考え方 ①医療事故と看護業務					講義			
3	(3)診療の補助に伴う事故防止 (4)療養上の世話における事故防止					講義			
4	(5)ケーススタディシナリオ学習 A:夜勤者から申し送りを受ける B:寝たきり患者の胃管に栄養物を接続					講義/GW			
5	C:高カロリー輸液の更新 D:休憩中看護師の患者の臨時採血指示受け採血					講義/GW			
6	E:抗がん剤点滴中の患者を観察 F:2名に看護師管理薬を配薬					講義/GW			
7	G:休憩中に看護師の患者のコール対応(トイレ介助) H:患者から腹痛の訴えあり訪室、外来の医師に報告					講義/GW			
8	I:放射線科よりCT患者の呼び出し、車いすにて出棟 J:肩痛を訴えて患者来所、湿布を貼付					講義/GW			
9	K:即入院患者の家族からの情報収集、記録					講義/GW			
10	(6)KYTトレーニング(11事例)					講義/GW			
11~12	(7)ストーリー学習 ミニストーリー(6事例)					講義/個人ワーク			
13~14	ストーリー学習 ロングストーリー(12事例)					講義/個人ワーク			
15	(8)組織的な安全管理対策への取り組みとわが国の医療安全対策の展望 (9)医療安全と看護倫理					講義			
☒ 期末試験 (70) % ☒ 提出物 (30) % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名			著者			出版社			
「医療安全」、「医療安全ワークブック」						医学書院			
参考書									
書名			著者			出版社			
「ナースが知っておきたい医療事故の30の防止策」事例がマンガでよくわかる						照林社			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	看護の実践								
担 当 者	石原 吏絵/ 長嶺 千寿子								
開 講 年 次	3年	開 講 期	3年後期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標 (概 要)①状況に対応した看護を考え優先度を判断し行動し、望ましい患者への看護を考える。 4人部屋の2名の患者を受け持ち、1人で実施することを基本に看護計画を立案し実施する。2人で実施する場合はその必要性・理由を明確にする。 ②看護実践のなか、「突発事象への対処」の課題があり、看護の対応を考える。進行中の業務を中断し、優先すべき事象、予期しない患者の反応、突発的な事象、時間的緊迫に対応できる。 (到 達 目 標)1)複数患者の疾患を理解し優先順位を考えた看護計画を立案し、グループで実践できる 2)看護実践中に起こった突発的な事象に対して、対処方法を判断し実践できる。 3)チームメンバーと連携しながら、状況に応じた看護を試みることができる。 4)統合実践実習に向けた自己の課題を理解して、ゴール(目標)が見いだせる。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担 当 者		
1～2	事例A氏 課題学習、統合記録1					講義	長嶺 千寿子/ 石原 吏絵		
3	事例B氏 課題学習、統合記録1					講義	長嶺 千寿子/ 石原 吏絵		
4～5	演習の説明 1)1人の患者のケア計画を立案 ・1人の患者の状態から優先度を判断し行動計画立案の確認 ・GWの結果を記録用紙にまとめる					GW	長嶺 千寿子/ 石原 吏絵		
6～7	看護師役(2～1名)患者役(2名)決定 1)2人の患者のケア計画を立案 ・2人の患者の状態から優先度を半 d 何市行動計画立案の確認(ケアの優先度、順序性、時間管理) ・GWの結果を記録用紙にまとめる。					GW	長嶺 千寿子/ 石原 吏絵		
8～9	実践演習Ⅰ(優先度に合わせて看護実践) 1. 患者の状態にあった看護実践 2. 複数患者の優先度に合わせて看護実践					演習	長嶺 千寿子/ 石原 吏絵		
10	グループごとに討論し、到達目標1)「看護の優先順位」について振り返る。グループ内で意見交換しカンファレンスシートにまとめる。」						長嶺 千寿子/ 石原 吏絵		
10	グループごとに討論し、到達目標1)「看護の優先順位」について振り返る。グループ内で意見交換カンファレンスシートにまとめる。					GW	長嶺 千寿子/ 石原 吏絵		
11～12	実践演習Ⅱ(突発的な事象) 1. 複数患者の看護実践 2. 突発的な事象への対処 予期しない患者の反応、突発的な事象 時間緊迫					演習	長嶺 千寿子/ 石原 吏絵		
13	実践演習Ⅱを振り返り、到達目標2)3)を含み「多重課題への対処方法」について振り返る。 ・GWの結果を記録用紙にまとめる。					GW	長嶺 千寿子/ 石原 吏絵		
14～15	グループごとに討論し、到達目標4)について振り返る。 グループ内で意見交換しカンファレンスシートにまとめる。演習を通して学んだことをまとめ、統合実習に向けてゴールシートを記入する。					GW	長嶺 千寿子/ 石原 吏絵		
■期末試験(60) % □提出物() % □小テスト() % □実技試験() % □口頭試験() % □発 表() % ■その他(評価表)(40) % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
医療安全					医学書院				
フィジカルアセスメントガイドブック					医学書院				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
基礎看護学、成人看護学、老年看護学のテキスト									
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									